

第3次諫早市総合計画

(案)

はじめに

本市は、豊かな自然と交通の要衝としての地理的優位性を活かし、農業、工業、商業がバランスよく発展してきたところであり、本市の特性を活かしたまちづくりを進める中で、多くの市民の皆様とともに歩みを重ね、確かなまちの基盤を築いてまいりました。

一方で、人口減少や少子高齢化の進展、デジタル化の加速、気候変動や自然災害への対応など、私たちを取り巻く社会経済環境は、近年ますます複雑化・多様化しています。加えて、ライフスタイルや価値観の変化により、行政サービスのあり方や地域コミュニティの役割にも新たな視点が求められています。

こうした時代の潮流を的確に捉えながら、これまで培ってきた本市の強みを最大限に活かし、未来を見据えた持続可能な活力あるまちづくりを進めていくため、「第3次諫早市総合計画」を策定いたしました。

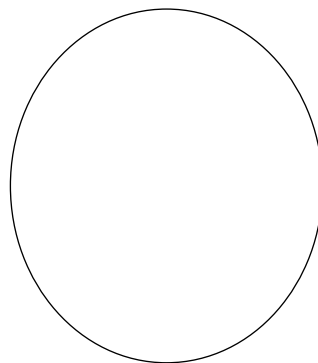
今回の計画策定にあたっては、総合計画審議会での活発な議論をはじめ、市民アンケートや各種ワークショップなどを通じて多くの市民の皆様から貴重な御意見をいただくとともに、市議会からの御提言、関係機関との連携を得て、計画の実効性と整合性を高めることができました。御協力いただいたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。

これからの10年は、「まち・ひと・しごと」が共に輝く社会の実現に向けて、本市が持つポテンシャルをさらに引き出す重要な期間です。次代を担う子どもたちの健やかな育成と安心できる子育て環境の整備、地場産業の振興と新たな雇用の創出、土地利用の自由度を高める新しい都市計画など、さまざまな取組に市民の皆様と共に果敢に挑戦してまいります。

今後とも、市民一人ひとりが主役となり、まちに暮らす全ての皆様が未来の夢を描き、その夢が叶うまち・諫早の実現のため、皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和8年3月

諫早市長 大久保 潔 重



目 次

第 1 章 総合計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の概要

第 2 章 諫早市の課題と未来への展望

- 1 諫早市の現状
- 2 まちづくりの課題 ～市民や事業者の声から～
- 3 今後 10 年の主な出来事

第 3 章 まちづくりの基本構想

- 1 将来都市像
- 2 基本目標
- 3 目標人口

第 4 章 まちづくり計画

- 1 施策体系
- 2 重点プロジェクト
- 3 分野別まちづくり計画
 - チャレンジできるまち
 - 産業が活力を生み出すまち
 - 人を育む学びのまち
 - 誇りと賑わいのあるまち
 - 持続可能なまち
- 4 まちづくり計画の推進方策

1 計画策定の趣旨

本市は、平成28年度を初年度とし、令和7年度を目標年度とする第2次諫早市総合計画を策定し、将来に向けたまちづくりを進めてきました。

近年、少子高齢化や人口減少、経済・社会環境の変化、災害や気候変動への対応など、本市を取り巻く状況は大きく変化しています。その一方で、本市においては、西九州新幹線の開業をはじめ、大手企業の進出や事業拡張、大規模商業施設の開業計画など市全体の発展や魅力向上につながる新たな動きも生まれています。

こうした変化や新たな機会を踏まえつつ、将来にわたり持続可能で活力あるまちを実現するため、第3次諫早市総合計画を策定することとしました。

2 計画の概要

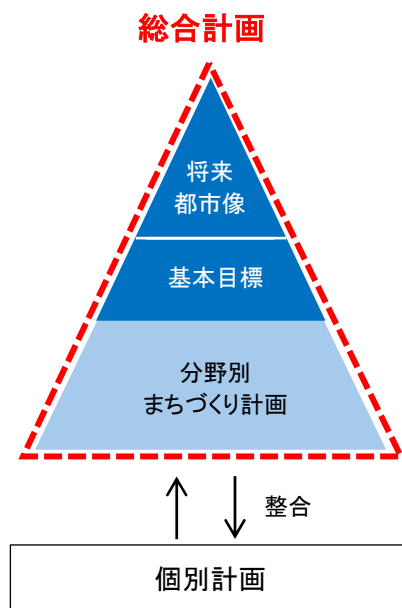
(1) 第3次総合計画の期間と構成

総合計画は、市の最上位計画として、市の将来像を描き、その実現に向けた基本的な方針や取組の方向性を示すものです。

本計画は、まちづくりの基本的な方向性を示す「将来都市像・基本目標」と具体的な施策からなる「分野別まちづくり計画」で構成します。

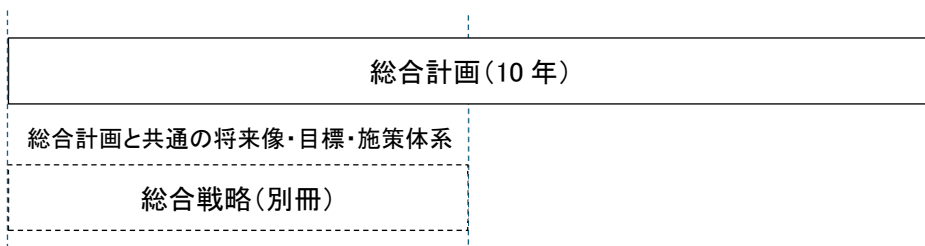
計画期間は、令和8年度を初年度とし、令和17年度までの10年間とします。

なお、期間中に重大な社会情勢の変化などが生じた場合は適宜見直しを行います。



(2) 総合計画と総合戦略の関連性

諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、総合計画と「将来都市像・基本目標・施策体系」を共通としながら、少子高齢化や人口減少対策を戦略的に推進していくための具体的な施策と達成目標（KPI）をまとめたものです。計画期間を5年間として、毎年度、評価・見直しを行うものとします。

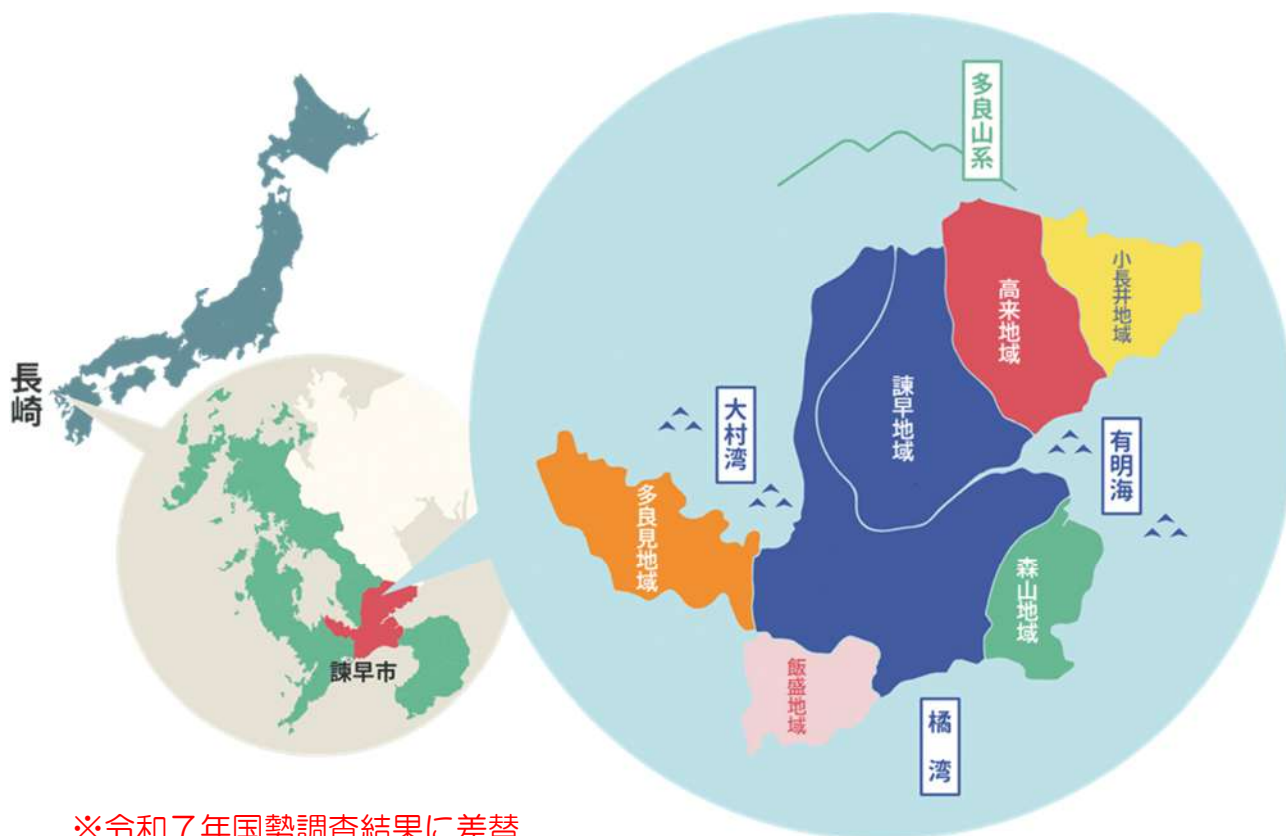


1 諫早市の現状

(1) 諫早市の概要

本市は長崎県の南部中央に位置し、長崎半島・島原半島・西彼杵半島の接点にあたる交通の要衝として、古くから重要な役割を果たしてきました。東は有明海、西は大村湾、南は橘湾に囲まれ、北には多良山系が広がる豊かな自然環境に恵まれています。市の中心部を流れる本明川は市街地を貫き、有明海へと注ぎ、下流に広がる諫早平野は、県内最大の穀倉地帯として知られています。

気候は年間を通して温暖であり、豊かな自然環境と優れた交通アクセスが調和した、暮らしやすい都市環境を形成しています。また、産業用地や住宅地としての魅力も高く、多様な都市機能の発展が期待されています。



※令和7年国勢調査結果に差替

市の面積

- 341.79 km²

人口と世帯数

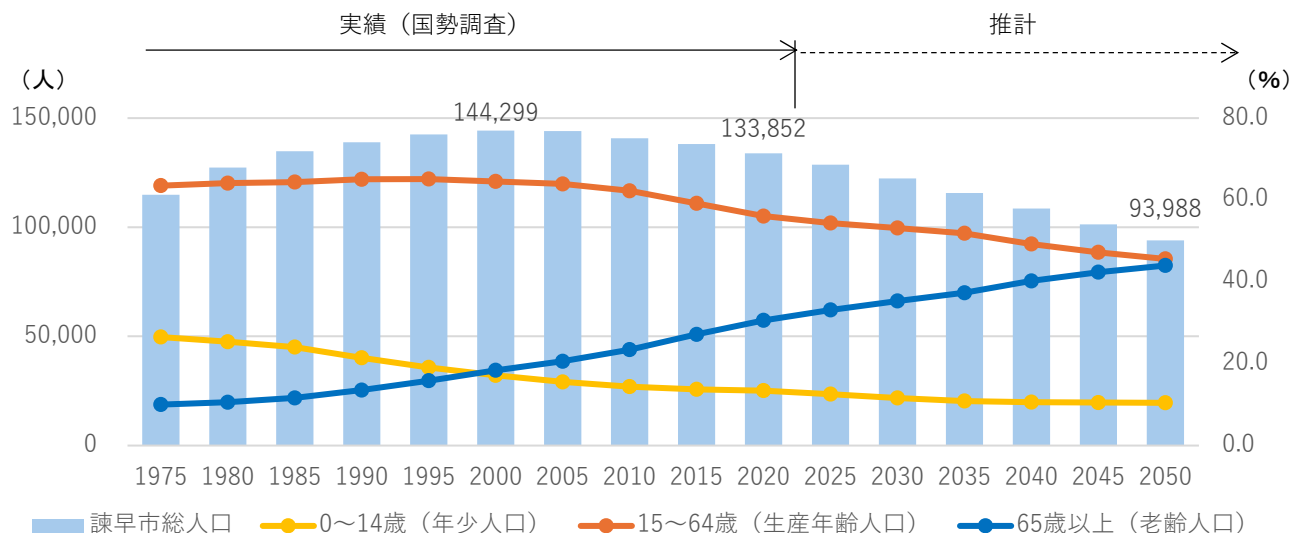
- 総人口 133,852人
- 人口(男) 63,544人
- 人口(女) 70,308人
- 世帯数 53,235世帯

九州・沖縄、県内自治体における位置

- 面積 九州・沖縄 38位／274市町村
長崎県内 5位／21市町
- 人口 九州・沖縄 14位／274市町村
長崎県内 3位／21市町

(2) 人口推移・将来予測

- 本市の人口は、2000 年（平成 12 年）をピークに減少傾向にあります。
- 国立社会保障・人口問題研究所の試算では、2050 年の総人口は 93,988 人、高齢化率は 44%と、およそ 2.3 人に 1 人が高齢者になることが予測されています。

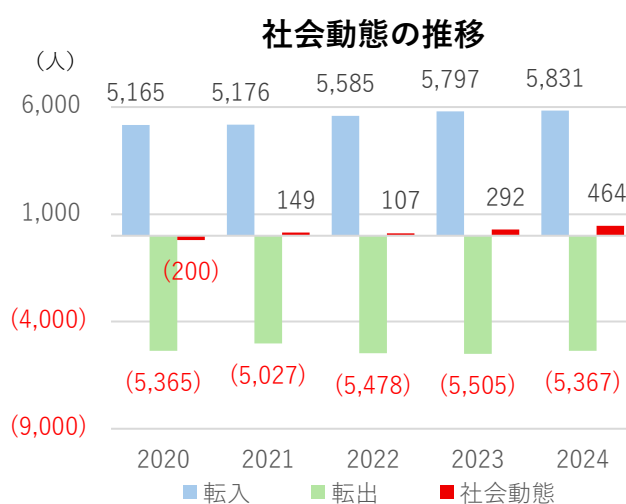
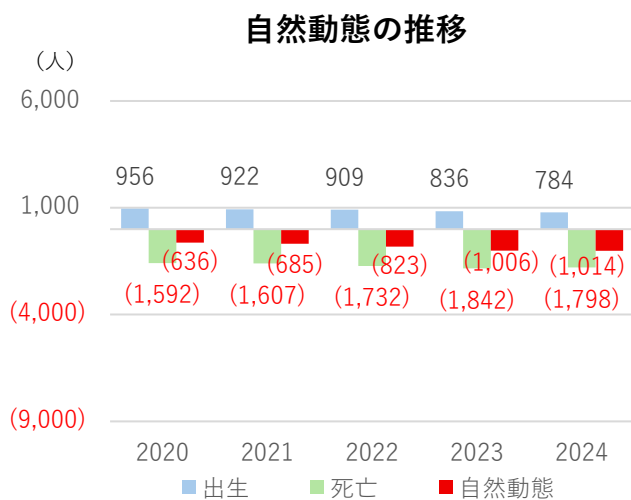


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計値 令和 5 年 12 月 22 日公表

(3) 自然動態・社会動態

①自然動態・社会動態の推移

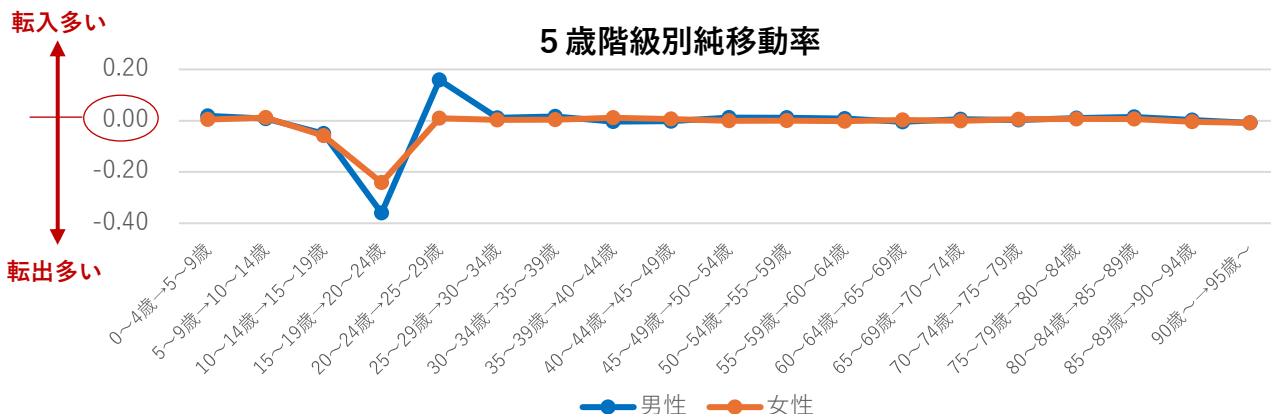
- 自然動態は、死亡が出生を上回り、毎年 1,000 人前後のマイナスとなっています。
- 社会動態は、転入が転出を上回り、2021 年以降、4 年連続してプラスとなっています。
- 社会動態はプラスですが、自然動態のマイナスが大きいことから、全体ではマイナス（人口減少）が続いています。



出典：長崎県異動人口調査（令和 2 年～令和 6 年調査）

②年齢別でみた社会動態の状況

- 5 歳階級での動態をみると、20 代から 30 代にかけて人口が流出していることが分かります。
- 男性は、20 代後半で U ターンなどにより転入超過となっていますが、女性は、転入超過となる年代がなく、特に流出が進んでいると言えます。

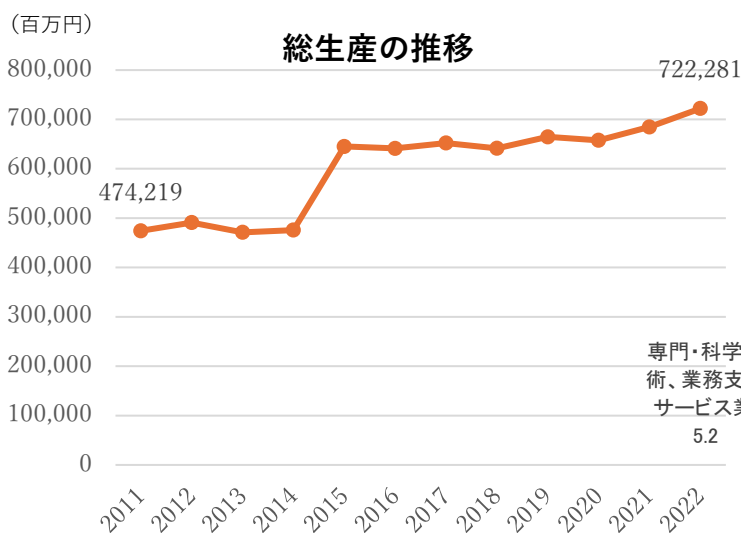


出典：国立社会保障・人口問題研究所

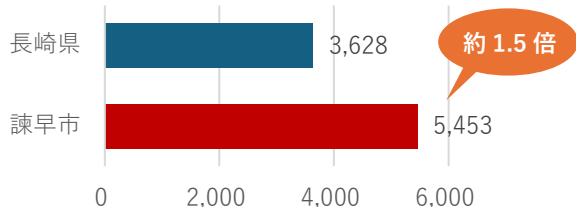
※純移動率とは 5 歳階級毎の人口の 5 年後の比率をいう。流入（転入）と流出（転出）の差を人口で割ったもの。人口 100 人で転出超過が 50 人（マイナス）の場合、純移動率は 0.5 となる。

（４）経済状況

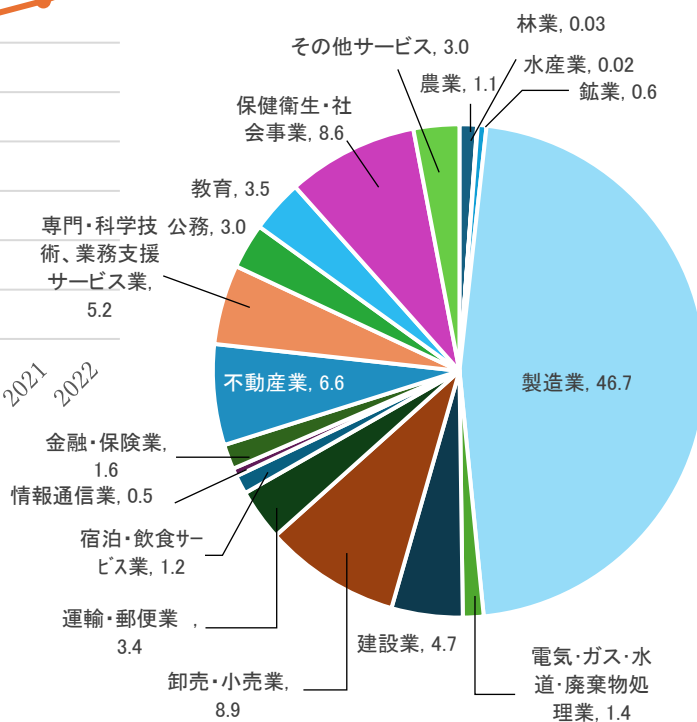
- 本市の総生産は好調な企業誘致などを背景に順調に増加しています。一人あたりの経済規模は長崎県平均の 1.5 倍と高い水準にあり「稼ぐ力」が強いと言えます。
- 分野別でみると企業誘致などの影響により「製造業」が 46.7%と半数近くを占めており、依存度が大きくなっています。



1 人あたり市町別経済規模 (総生産/人口) (千円)



(令和 4 年構成比)



出典：令和 4 年度長崎県市町村民経済計算

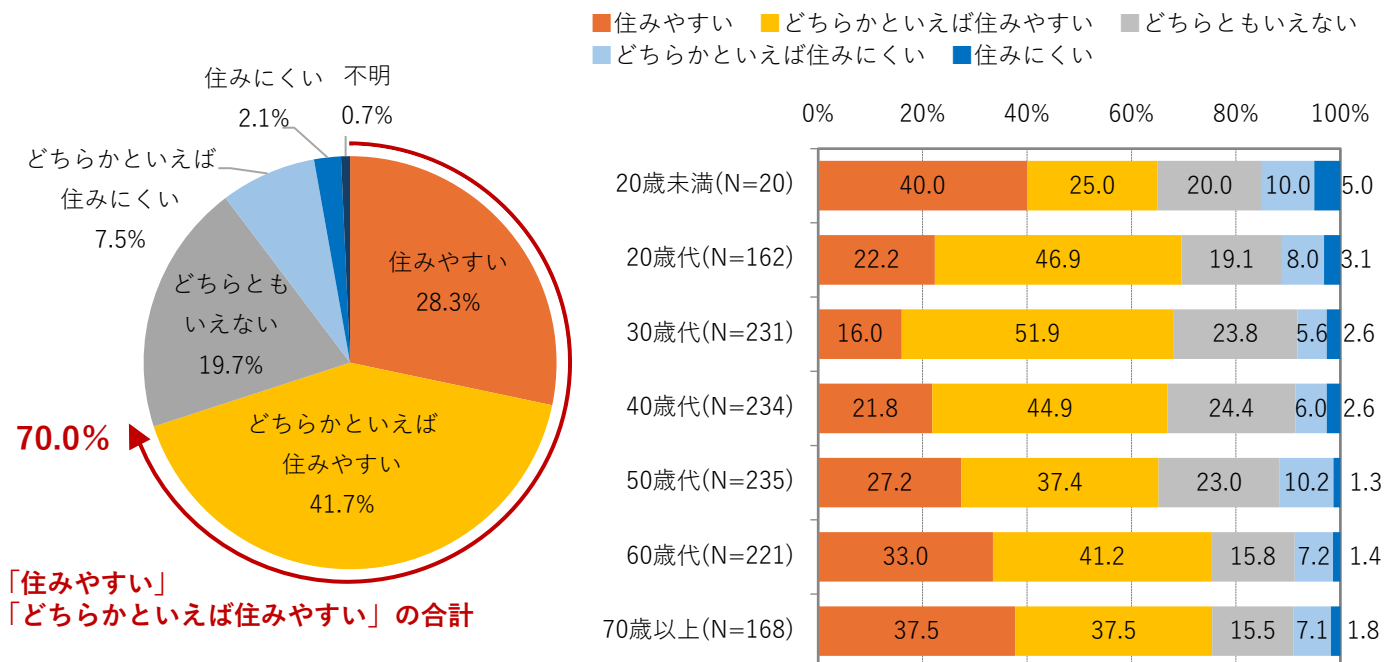
(1) 市民アンケート調査

【調査概要】 諫早市内在住の満18歳以上の男女3,000人を対象に令和6年9月～10月に実施。有効回答数1,285票、回収率42.8%

- ・本市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みやすい」が41.7%と最も多く、「住みやすい（28.3%）」を含めると70.0%が「住みやすい」と回答しています。
- ・定住意向については、「これからも住み続けると思う」が73.6%を占め、回答者の約7割が本市に定住する意向を示しています。
- ・一方、「市外の方に対する観光や移住をどの程度お勧めしたいか（推奨度）」では、観光の推奨度が20.4%、移住の推奨度が32.7%とやや低い傾向にあります。

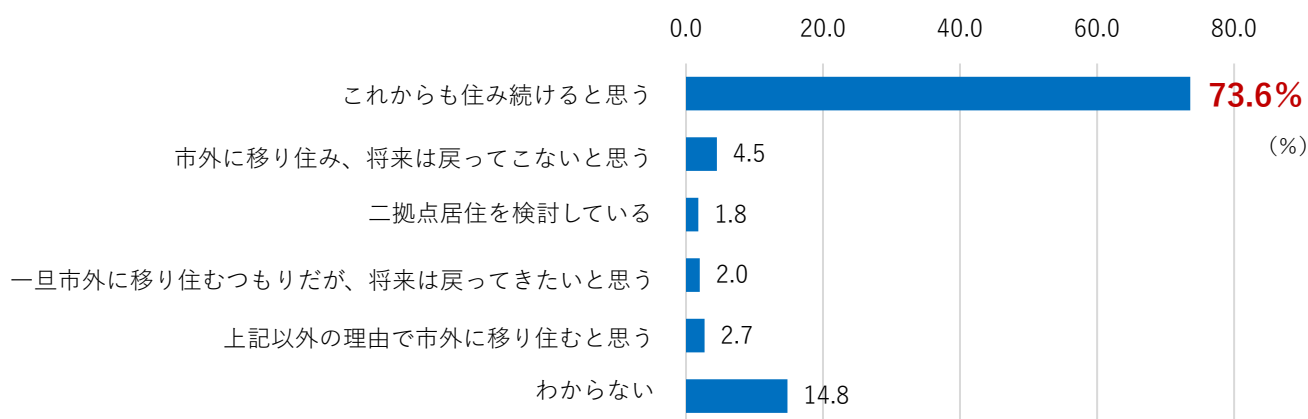
① 住みやすさ

Q:今の諫早市は住みやすいところだと思いますか？



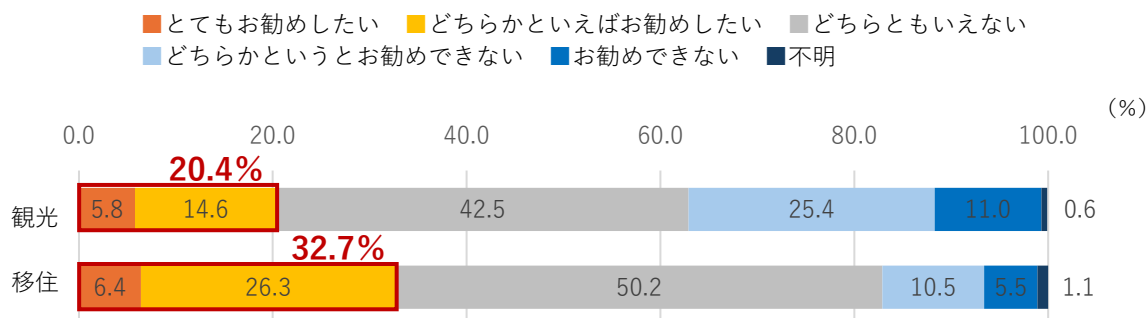
② 定住意向

Q:今後も諫早市へ住み続けたいと思いますか？



③観光・移住推奨度

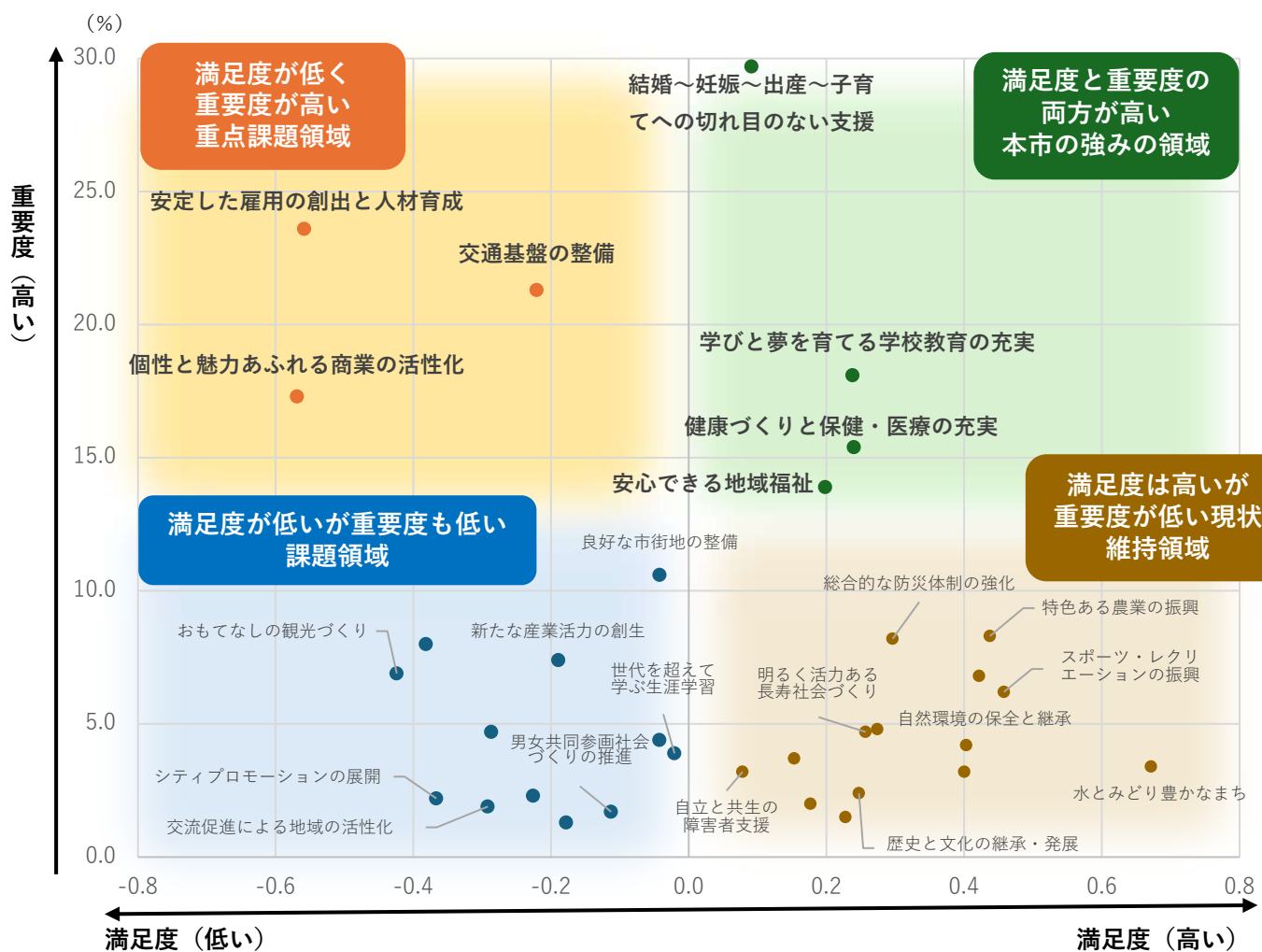
Q:市外の方に諫早市への観光・移住をどの程度お勧めしたいですか？



④施策別満足度・重要度

- ・ 施策満足度に重要度を掛け合わせると、満足度と重要度がともに高い「子育て」、「学校教育」、「健康づくりと保健・医療」、「地域福祉」などは、本市の強みとなる分野と言えます。
- ・ 満足度が低く、重要度が高い「雇用の創出と人材育成」、「交通基盤の整備」、「商業の活性化」などは、本市の重点課題分野と言えます。

市民アンケート調査結果：満足度×重要度に基づく分布



※満足度指数：{大変満足×2+やや満足×1+わからない・不明×0+やや不満×(-1)+大変不満×(-2)} / 回答数

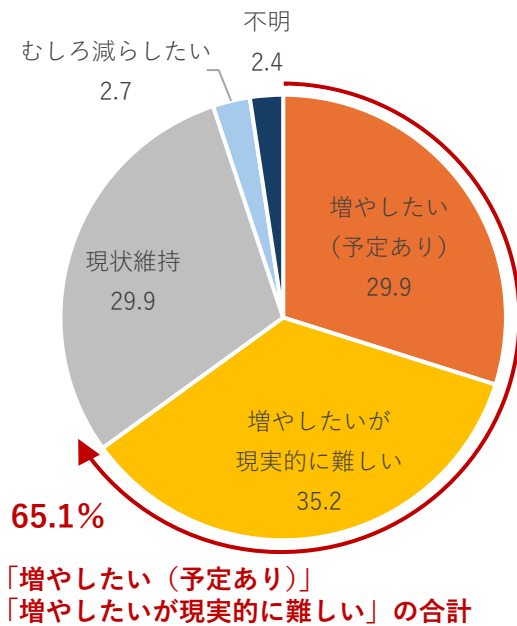
※分布図の施策については、主なものを記載しています。

(2) 事業所アンケート調査

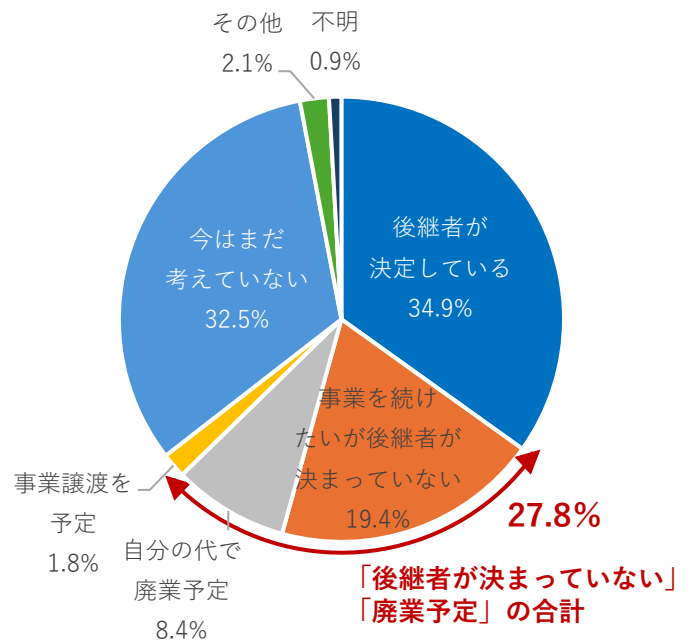
- ・ 今後雇用を「増やしたいが現実的に難しい」が最も多く 35.2%となり、「増やしたい（予定あり）」を含めると 65.1%が雇用を増やしたいと回答しています。
- ・ 後継者の有無については、「後継者が決定している」との回答は 34.9%に留まり、「後継者が決まっていない（27.8%）」、「自分の代で廃業予定（8.4%）」と約 3 割が後継者不足もしくは廃業が決まっていると回答しています。

①労働力・後継者不足

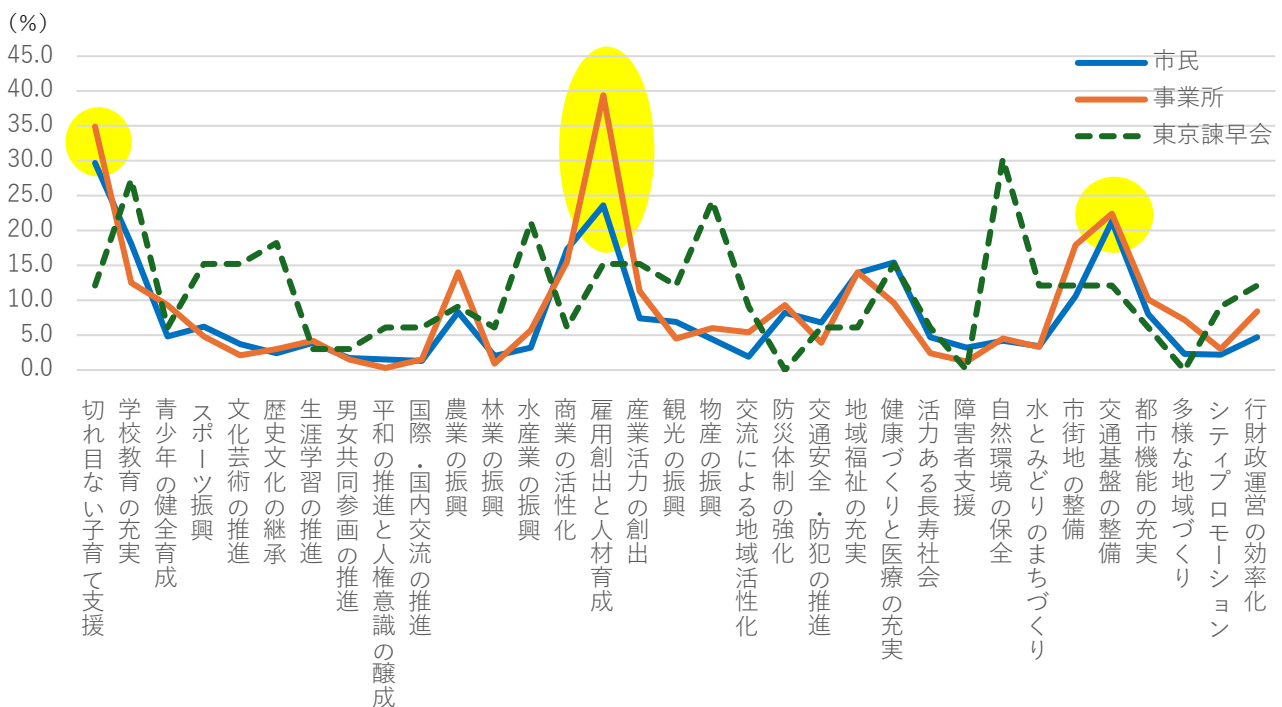
Q:今後雇用を増やしたいと思いますか？



後継者の有無



②分野別まちづくりの重要度比較



(3) 市民ワークショップ

総合計画に市民の皆さんのまちづくりに対する考えやアイデアを反映させるため、高校生・市民ワークショップを開催しました。ワークショップでは、本市の魅力や強み、課題などを話し合いながら、その資源を活かしたまちづくりや、将来のまちのキャッチコピーなど、多くのアイデアが提案されました。

◎高校生ワークショップ

(開催日) 令和6年10月26日 (参加者) 市内8高校から32名



(主な意見)

- ・ 諫早は滝や川、山など自然が豊かで、きれいな景色や映える場所が多い！もっとPRすべき！
- ・ 諫早の高校は部活動が強い学校が多く、スポーツ施設も充実している。大会や合同の行事で学校を超えて交流をしたい！
- ・ 農業や漁業が盛んで、野菜や魚などが豊富。地元の飲食店やイベントで楽しめるまちにしたい！

◎市民ワークショップ

(開催日) 令和6年11月16日 (参加者) 市内在住14名

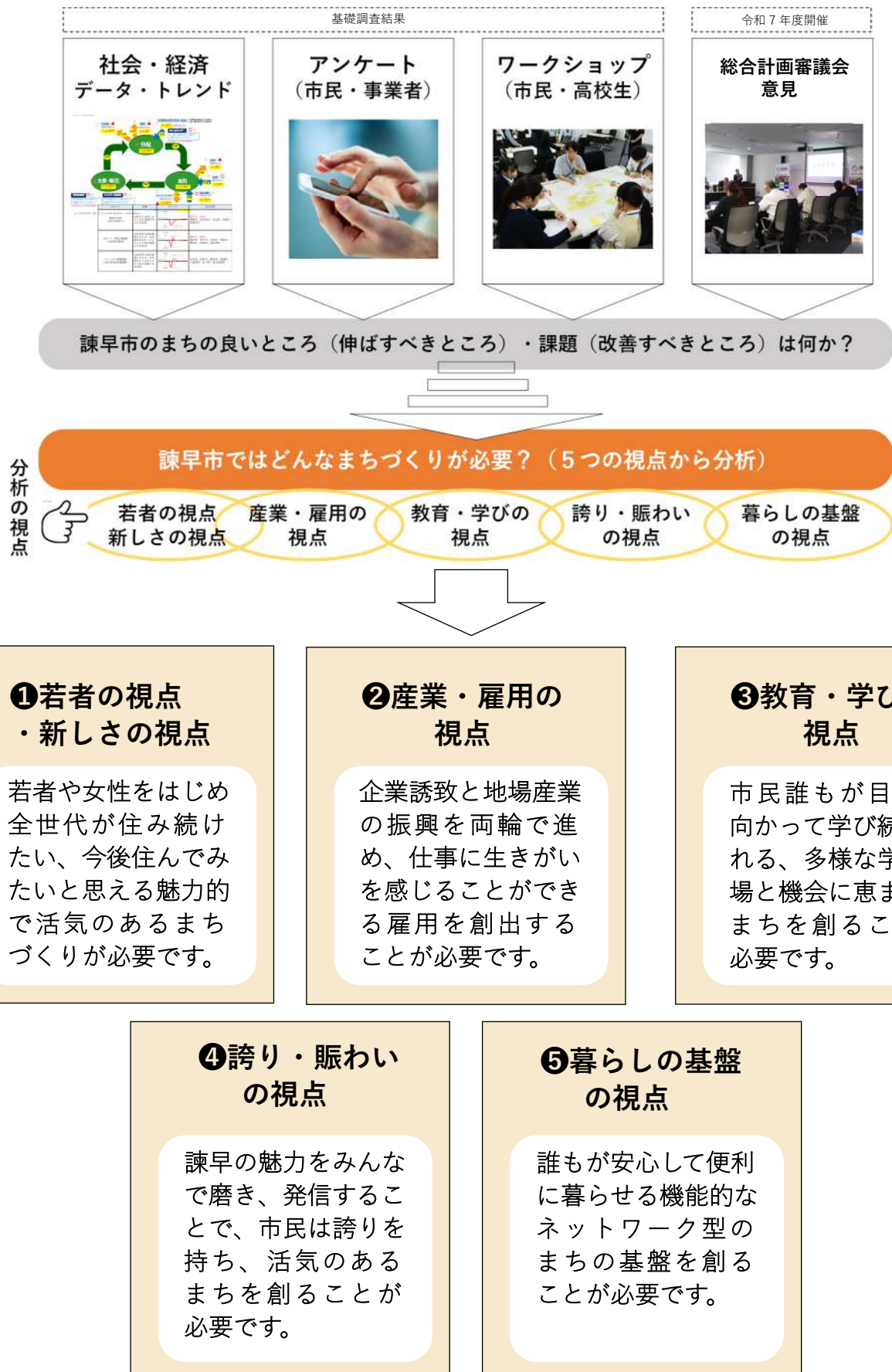


(主な意見)

- ・ 野菜や米、海産物などが豊富だという地域の強みを活かし、後継者不足や耕作放棄地の課題にも取り組む必要がある！
- ・ 学生の活力や起業意欲の高さは大きな魅力。起業の仕方を学べる場や、空き店舗の活用、学習や交流の場をさらに広げていきたい！
- ・ 諫早の魅力を十分に発信できていないので、SNSや動画など多様な手段で効果的に伝えたい！

まちづくりの課題まとめ

基礎調査結果や総合計画審議会での意見を踏まえ、まちづくりの課題を「若者・新しさ」、「産業・雇用」、「教育・学び」、「誇り・賑わい」、「暮らしの基盤」の5つの視点で整理しました。



計画期間の最終年である令和 17 年度（2035 年度）は市制施行 30 年の節目にあたる年です。

計画期間である令和 8 年度からの 10 年間では、新たな産業団地の整備や都市計画制度の運用開始、（仮称）市民交流センターの開設など、本市の新たな魅力と活力を生み出す様々なまちづくり事業が展開されます。

目標人口 **13 万人**

2035 年度
令和 17 年度

・市制施行 30 周年

2032 年度
令和 14 年度

・本明川ダム完成

2030 年度
令和 12 年度

・（仮称）市民交流センター整備事業
（市民センター跡地整備等含む）
・水道創設 100 周年

2028 年度
令和 10 年度

・小長井地域義務教育
学校の開校

2027 年度
令和 9 年度

・諫早大水害 70 周年
・諫早平山産業団地分譲用地整備完了
・諫早市の新しい都市計画制度（予定）

2026 年度
令和 8 年度

・長崎ミュージックフェスマラソン開催
・諫早中央浄化センターし尿等共同処理施設供用開始

その他、今後想定される主な出来事

- ・島原道路（森山西 IC - （仮）尾崎 IC 約 1.5 km）の供用開始
- ・国道 34 号大村諫早拡幅（約 4.4 km）の供用開始
- ・国道 207 号東長田拡幅（約 1.9 km）の供用開始

来てよし、住んでよし、育ててよし！

輝く諫早 夢かなうまち

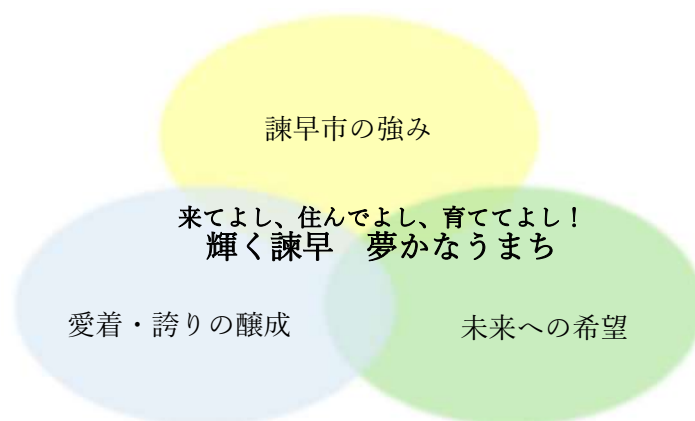
「来てよし、住んでよし、育ててよし！ 輝く諫早 夢かなうまち」は、本市の多様な魅力（強み）と、そこに関わるすべての人の未来への希望を表現したものです。この将来都市像には、本市に対する愛着と誇りを育んでいただきたいとの思いが込められています。

本市の財産である豊かな自然と都市機能が調和した優れた生活環境、さらには、子育てや教育の充実といった「暮らしのバランスの良さ」は大きな強みであり、「来てよし」「住んでよし」「育ててよし」のすべてを体現する本市のまちの姿を象徴しています。

また、市民のまちへの愛着や誇りを育むとともに、その魅力を市内外に広く発信し、地域の活力と魅力向上につなげていく姿勢を表すものでもあります。

そして、「輝く諫早 夢かなうまち」という言葉には、市民一人ひとりが未来に希望を抱き、自らの人生を実現していけるまちであり続けたいという思いが込められています。

「来てよし、住んでよし、育ててよし！ 輝く諫早 夢かなうまち」
みんなで一緒に諫早市のまちづくりをはじめましょう。



基本目標 1

チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。

基本目標 2

産業が活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じることができる雇用を創出する。

基本目標 3

人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。

基本目標 4

誇りと賑わいのあるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。

基本目標 5

持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創る。

3 目標人口

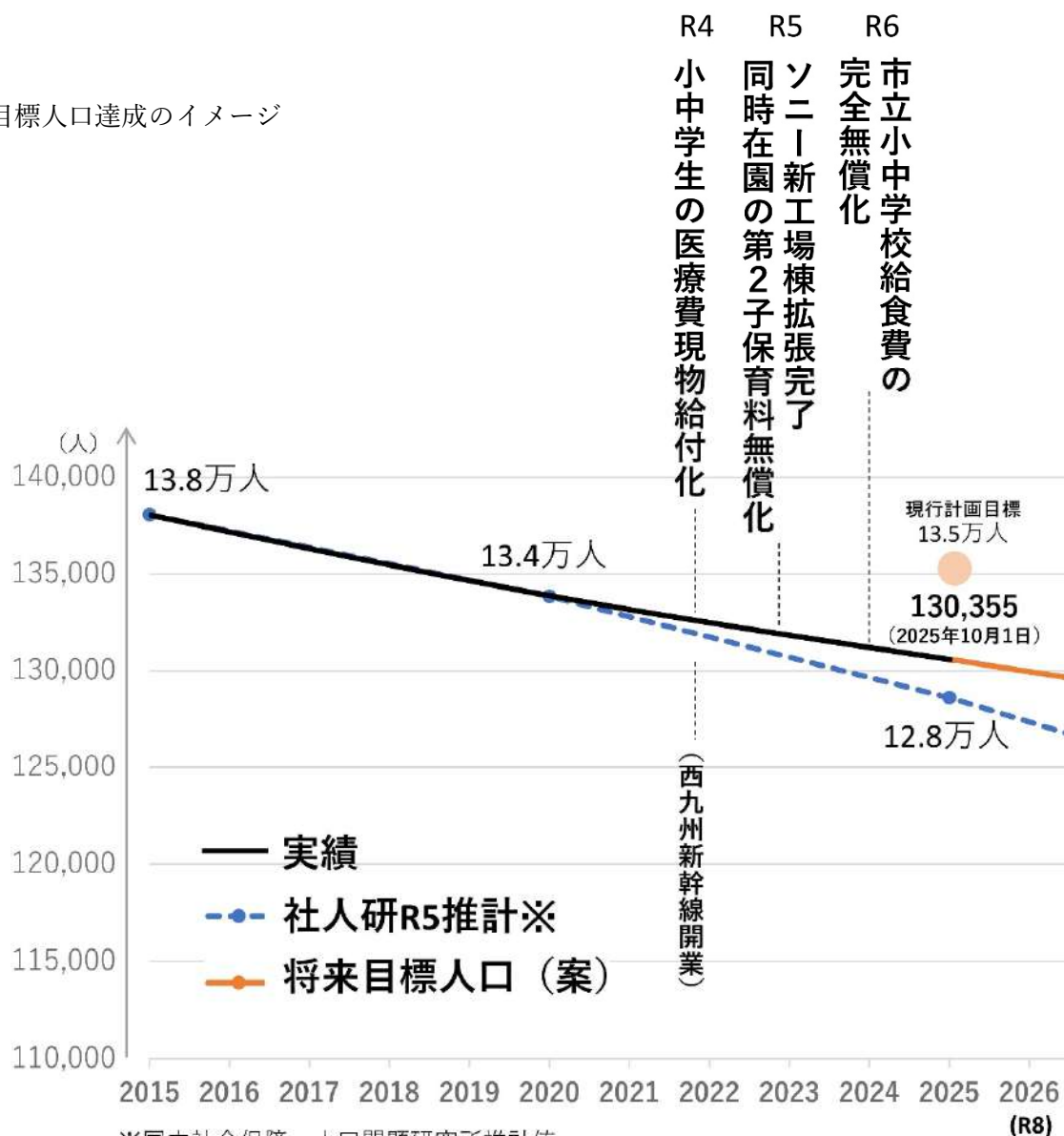
諫早市は 2035 年度（令和 17 年度）に人口約 13 万人を目指します。

本市の人口は、平成 12 年をピークとして減少傾向にあり、令和 7 年国勢調査（速報値）では、130,355 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、本市の人口は、全国の多くの市町村と同様に今後も減少が続くと予想されています。

しかしながら、本市においては、令和 4 年度以降、子育て支援策の充実や相次ぐ企業誘致の進展のほか、住環境の整備に向けた都市計画制度の見直しも予定しており、まちづくりにおける大きな転換期を迎えています。

こうした基盤を活かし、今後さらに定住促進策や UI ターン施策を強化することで社会動態の改善を図り、2035 年度には人口約 13 万人の維持を目指します。

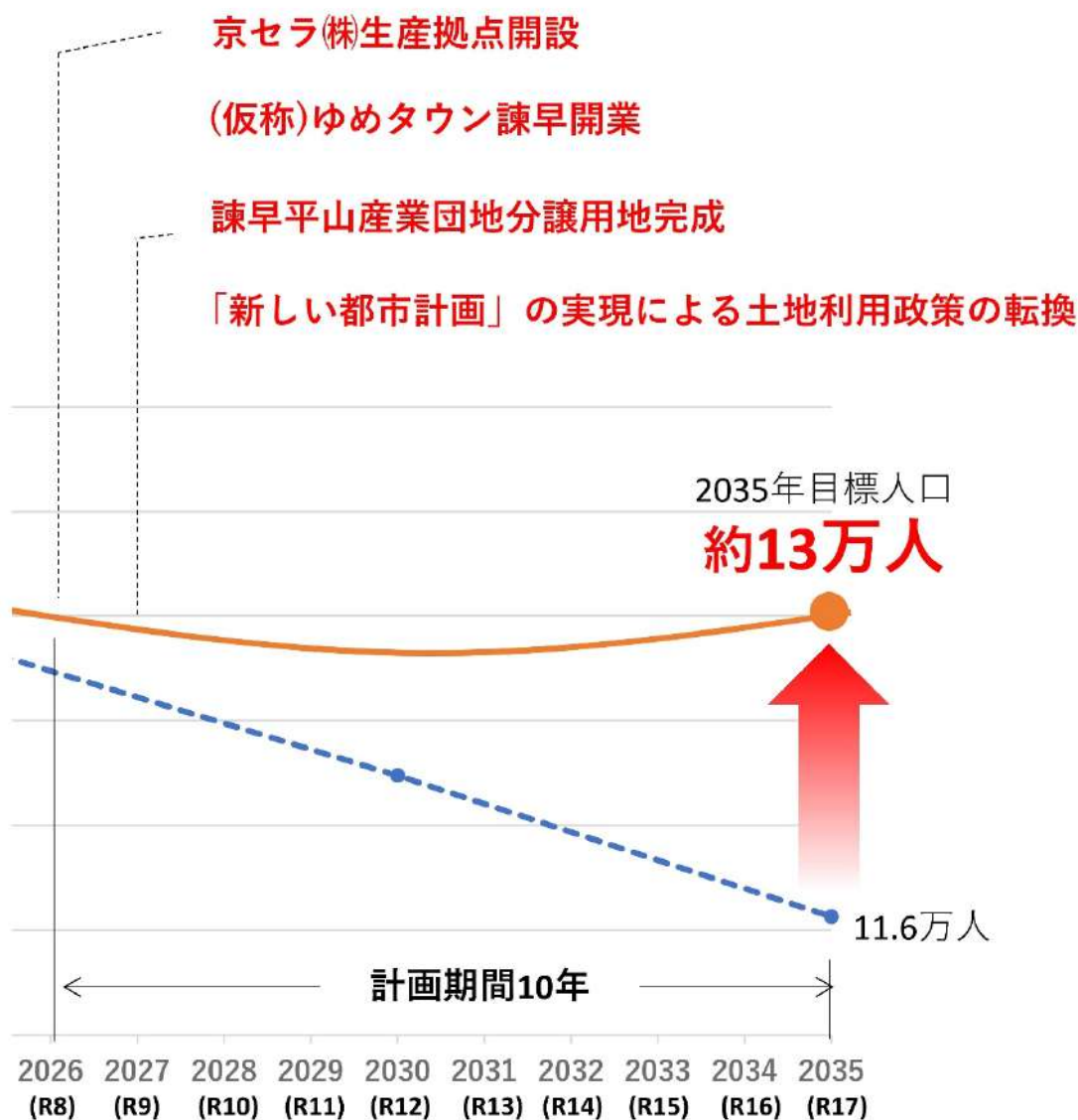
目標人口達成のイメージ



将来目標人口（案）の達成に向けた取り組みの方向性

	市 民	市 外	外国人（市内外）
社会動態対策	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 若者に求められる仕事づくりや子育て環境などの充実 ➢ 市内企業の紹介とマッチングの機会の創出 ➢ 県内他市町への転出抑制に向けた土地利用・住宅施策など 	—	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 在住外国人（留学・技能実習等）の定住促進（受入体制の整備）
	—	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 誘致企業等と連携した市外からの移住・定住促進 ➢ 関係人口（ふるさと住民）の増加による将来の移住促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 誘致企業・地場企業と連携した外国人人材の受入強化
自然動態対策	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 結婚支援、子育て環境の充実、医療体制の充実、教育の質向上などによる出生数の増加 		
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 介護予防や認知症対策などの充実による健康寿命の延伸 		

計画期間中の主なまちづくり事業



将来都市像

輝く諫早 夢かなうまち

来てよし、住んでよし、育ててよし！

基本目標 1

チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。

基本目標 2

産業が活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じることができる雇用を創出する。

基本目標 3

人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。

基本目標 4

誇りと賑わいのあるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。

基本目標 5

持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創る。

まちづくり計画の推進方策（P69）

分野別施策

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援（P21～22）

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり（P23～24）

1-3 新たな活力の創出と人材育成（P25）

1-4 市民協働の諫早プロモーション（P26）

1-5 多様な地域づくりの推進（P27）

1-6 魅力的な都市（まち）づくりの推進（P29～30）

2-1 特色ある農業の振興（P33）

2-2 循環型林業の推進（P34）

2-3 3つの海が育てる水産業の振興（P35）

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化（P36）

2-5 安定した雇用の創出（P37）

2-6 新たな活力の創出と人材育成（再掲）（P38）

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実（P41）

3-2 地域で支える青少年の健全育成（P42）

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進（P43）

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進（P44）

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成（P45）

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり（P47～48）

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興（P49～50）

4-3 おもてなしの心による観光振興（P51）

4-4 ふるさとの物産づくり（P52）

4-5 水とみどり豊かな環境づくり（P53～54）

4-6 未来につながる環境の保全（P55）

4-7 市民協働の諫早プロモーション（再掲）（P56）

5-1 安心できる地域福祉の推進（P59）

5-2 健康づくりと保健・医療の充実（P60）

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現（P61～62）

5-4 自立と共生の障害者支援（P63）

5-5 総合的な防災体制の強化（P64）

5-6 交通安全・防犯意識の推進（P65）

5-7 安全・安心な暮らしを支える基盤づくり（P66）

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備（P67～68）

【重点プロジェクト】

若者＆
ファミリー定着
プロジェクト

人材確保・育成
プロジェクト

学びのまち
プロジェクト

情報発信
プロジェクト

便利な移動
実現
プロジェクト

（分野横断）
DX 推進
プロジェクト

本市のまちづくりの基盤を将来にわたり強化していくため、各基本目標において、特に重点的な取組を「重点プロジェクト」として位置付け、推進します。

基本目標1

チャレンジできるまち

若者&ファミリー定着プロジェクト

若者やファミリー層に選ばれるまちを目指し、仕事や子育て、住まいなどの暮らしに関わる様々な分野の充実を図ります。



基本目標2

産業が活力を生み出すまち

人材確保・育成プロジェクト

多くの事業所が抱える人材確保・育成と事業承継の課題に対し、分野を超えた取組を行います。



基本目標3

人を育む学びのまち

学びのまちプロジェクト

地域に根付いた大学、魅力的な図書館がある強みを活かし、生涯学習からリカレント教育まで、全ての市民のニーズに応える学びの場をつくれます。



基本目標4

誇りと賑わいのあるまち



情報発信プロジェクト

本市の魅力的な資源を内外に向け発信し、観光・物産の振興などにつなげ、地域活性化や交流人口の拡大を図ります。

基本目標5

持続可能なまち



便利な移動実現プロジェクト

幹線道路の渋滞対策をはじめ、公共交通の充実などにより、誰もが便利に移動できるまちをつくります。

分野横断

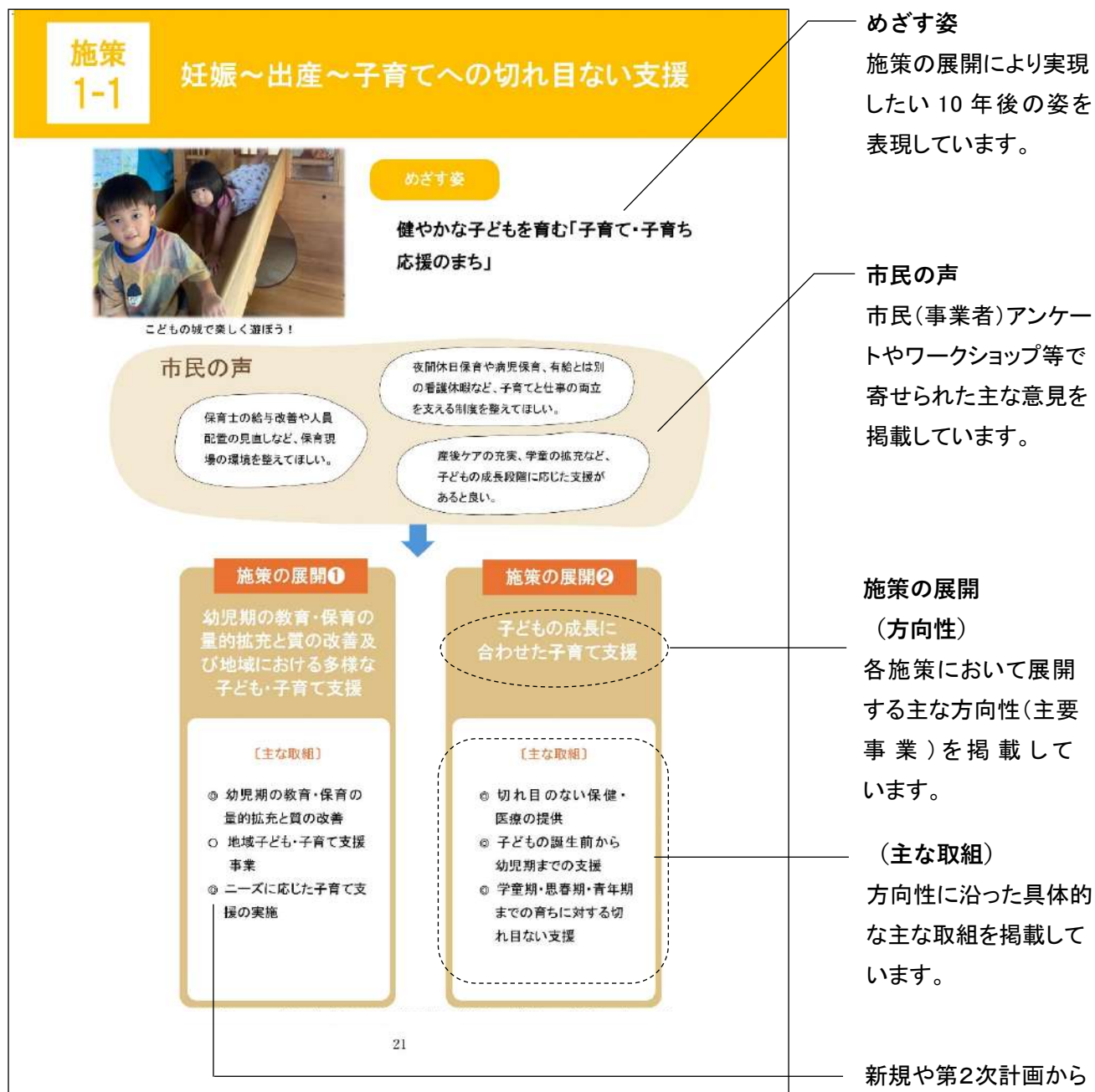
DX 推進プロジェクト



デジタル技術やデータを活用し、産業や暮らしなどの様々な分野の効率化と施策効果の最大化を目指します。

分野別まちづくり計画の見方

各分野のまちづくりを可能な限りコンパクトで分かりやすく表現するため、各施策を1ページから2ページでまとめています。



※市民の声は、それぞれが施策の展開につながっているものではありません。

分野別まちづくり計画

基本目標 1 チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み
続けたい、今後住んでみたいと思え
る魅力的で活気のあるまちを創る。

施策 1-1

妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援



こどもの城で楽しく遊ぼう！

めざす姿

健やかな子どもを育む「子育て・子育て
応援のまち」

市民の声

保育士の給与改善や人員
配置の見直しなど、保育現
場の環境を整えてほしい。

夜間休日保育や病児保育、有給とは別
の看護休暇など、子育てと仕事の両立
を支える制度を整えてほしい。

産後ケアの充実、学童の拡充など、
子どもの成長段階に応じた支援が
あると良い。

施策の展開①

幼児期の教育・保育の
量的拡充と質の改善及
び地域における多様な
子ども・子育て支援

〔主な取組〕

- ◎ 幼児期の教育・保育の
量的拡充と質の改善
- 地域子ども・子育て支援
事業
- ◎ ニーズに応じた子育て支
援の実施

施策の展開②

子どもの成長に
合わせた子育て支援

〔主な取組〕

- ◎ 切れ目のない保健・
医療の提供
- ◎ 子どもの誕生前から
幼児期までの支援
- ◎ 学童期・思春期・青年期
までの育ちに対する切
れ目ない支援

※主な取組について、新規や第2次計画から表記変更がある取組を「◎」、継続表記の取組を「○」で表しています。



子育て応援施設（上段：すくすく広場、下段左：太陽保育所、下段中右：こどもの城）



施策 1-2

多様な交流と連携によるまちづくり



国際交流フェスタ

めざす姿

市民主体の国際交流や姉妹・友好都市との交流を通じて、多文化共生と地域活性化が進んでいるまち

市民の声

外国人との交流や多文化理解を深める機会をもっと増やしてほしい。

外国人の方も安心して地域に関われるよう、支援体制を整えてほしい。



施策の展開①

多文化共生
・国際交流の推進

〔主な取組〕

- ◎ 多文化共生の地域づくり
- ◎ 市民主体の国際化推進



日本語教室

施策の展開②

外国人材の
受入促進

〔主な取組〕

- ◎ 多様な背景を持つ人々が共に働き、暮らせる環境整備



高校生ワークショップ



三市交流展（歴史・文化交流）

異なる価値観に触れられる場を通じて、視野を広げられるようにしてほしい。

市内外の高校生が交流できる場をつくってほしい。

施策の展開③

広域・官民連携の推進

〔主な取組〕

- ◎ 広域行政の推進
- ◎ 大学や高校、民間企業等との連携



民間企業等との包括連携

施策の展開④

国内交流の推進

〔主な取組〕

- ◎ 国内友好交流都市との地域間交流の推進



出雲市・津山市との交流

施策 1-3

新たな活力の創出と人材育成



いさはやコンピュータ・カレッジの授業風景

めざす姿

地域産業を担う人材が育ち、地元での就職
や起業が活発に行われているまち

市民の声

スタートアップ支援施設などの整備を進め、新たなビジネスや働く場を生み出すことが大切。

起業や研究開発に挑戦しやすい環境を整え、イノベーションを促進してほしい。

若い人材が活躍できるよう、起業支援や人材育成の仕組みを充実させてほしい。

商業や娯楽など生活面の充実も含め、若者が地元で働きたくなる環境があると良い。



施策の展開①

新規ビジネス支援

〔主な取組〕

- ◎ 創業支援ワンストップ窓口の開設
- ◎ 市制度融資の充実

施策の展開②

地域産業を支える人材の確保・育成

〔主な取組〕

- ◎ 職業訓練校の支援
- ◎ 人材育成機関の支援（IT 人材など）
- ◎ ハローワークとの連携に係る人材確保

施策の展開③

若者の地元就職の促進

〔主な取組〕

- ◎ 企業と高校との情報交換会の開催
- ◎ 若者向け県内企業説明会の開催

施策 1-4

市民協働の諫早プロモーション



シティプロモーション戦略

めざす姿

「住みたい」、「住んでみたい」と感じてもらえる、誰にとっても「住みよい」、「選ばれる」まちの実現のため、市民が地元に対して誇りや愛着を持ち、行政と共に市の魅力発信を行うまち

市民の声

県外の人にも諫早の魅力が伝わるよう、新たなPR手法も取り入れてほしい。

自然が身近にあり、自然と共生する暮らしの価値をもっと発信していく必要があると思う。

諫早には自然や食など魅力的なものが沢山ある。その魅力を市外の人にもっと知ってもらいたい。

若者が定住したくなるような、出会いのきっかけや婚活イベントなどの機会をもっと増やしてほしい。



施策の展開①

シティプロモーションの推進

〔主な取組〕

- シティプロモーション戦略に基づく施策の推進
- ◎ ふるさと納税制度を活用した地域資源のPR



施策の展開②

広報広聴の充実

〔主な取組〕

- 広報諫早の充実
- ◎ ホームページ、SNS 等を活用した積極的な情報発信
- ◎ 市民の声を大切にした広聴活動の推進
- ◎ 効果的な広報のための体制構築

施策の展開③

選ばれるまちづくり

〔主な取組〕

- ◎ 出会いのきっかけづくり
- ◎ きめ細かな移住相談
- ◎ 空き家バンクの利用促進
- ◎ 地域おこし協力隊と連携した情報発信
- ◎ 新生活実現支援

施策 1-5

多様な地域づくりの推進



地域づくり協働事業

めざす姿

良好な地域社会の維持のため自治会活動を支援することにより、地域のつながりを守るとともに、市民協働による特色のあるまち

市民の声

地域行事やボランティア活動などを通じた交流の場を広げてほしい。

閉鎖的になりがちな地域や、つながりが希薄な地区にも目を向け、地域全体で支え合える仕組みが必要だと思う。

地域の祭りや町おこしを盛り上げ、地域ごとの特色が発揮できる拠点づくりを進めてほしい。

いいい場や交流拠点を整備し、市民の活動を支える環境の充実が大切だと思う。

施策の展開①

つながり守る地域づくり

〔主な取組〕

- ◎ 自治活動支援
- ◎ 地区集会施設整備支援
- ◎ 地域自治意識の醸成

施策の展開②

特色あるまちづくりの推進

〔主な取組〕

- ◎ 地域づくり事業の支援
- ◎ 地域活動拠点の充実

施策 1-6

魅力的な都市(まち)づくりの推進



諫早駅周辺の風景

めざす姿

すべての市民が住みたい場所で、
安全・安心・快適に暮らせる持続
可能なまち

市民の声

地域の特性に応じた土地
利用誘導が必要だと思う。

駅前やアーケード
周辺の再開発を
進めてほしい。

人の流れを呼び込む商業施
設や飲食店の誘致、夜も賑わ
う魅力的なエリアづくりを進め
てほしい。

施策の展開①

未来へ向けた まちづくりの推進

〔主な取組〕

- ◎ 諫早市の新しい都市計画の実現
- ◎ 都市計画基本方針の改訂
- ◎ 立地適正化計画の策定
- ◎ 特定用途制限地域の決定
- ◎ 開発や建築に関するルールづくり
- ◎ 都市景観づくりの推進
- ◎ 都市計画・土地利用における都市DXの推進

施策の展開②

地域の特性に応じた 適正な土地利用誘導と定住促進

〔主な取組〕

- ◎ 新たな土地利用政策による適正な土地利用の誘導と定住促進
- ◎ 新たな制度による土地活用と環境保全のルールづくり
- ◎ 良質な住宅地の供給と身近な生活利便施設の充実の促進
- ◎ インターチェンジ周辺における産業立地の促進
- ◎ 幹線道路沿いにおける土地利用の促進



(仮称) 市民交流センター (イメージ)



島原道路長野インターチェンジ周辺

駅周辺の利便性や賑わいを向上させ、活気ある拠点として再生する取り組みが必要だと思う。



施策の展開③

まちなか再生の推進

〔主な取組〕

- ◎ 都市再生整備計画の推進
- ◎ 都市施設の整備促進
- ◎ 都市空間の創出と地域コミュニティの形成
- ◎ 民間活力を活かしたまちづくりの推進
- 諫早南部土地区画整理

(調整ページ)

基本目標 2

産業が活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で
進め、仕事に生きがいを感じること
ができる雇用を創出する。

施策 2-1

特色ある農業の振興



生産性向上など次世代につなげる農業の展開

めざす姿

地域の特性を活かし、持続可能で魅力
ある農業が発展しているまち

市民の声

若い世代が農業に魅力を感じ、
就農しやすくなるような支援の
仕組みを整えてほしい。

耕作放棄地や遊休農地を有効に活
用し、地域に人が集まる活気ある農
村環境を整備してほしい。

施策の展開①

次世代につなげる 農業づくり

〔主な取組〕

- 担い手の育成
- 農業の集団化・組織化の推進
- 農業生産基盤の整備
- 生産性向上のための支援
- ◎ スマート農業の導入支援
- ◎ 資源循環型農業への支援
- 優良家畜導入への支援
- ◎ 家畜防疫対策

施策の展開②

農村集落の環境づくり

〔主な取組〕

- 多面的機能の活動支援
- 中山間地域への支援
- 環境保全型農業への支援



環境保全を意識した農業生産

施策の展開③

有害鳥獣の対策 強化及び利活用

〔主な取組〕

- 有害鳥獣の被害防止対策
- ◎ ジビエの活用及び消費拡大



ジビエを活用した料理

施策 2-2

循環型林業の推進



ツクシシャクナゲ

めざす姿

「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進し、持続可能な森林・林業が発展しているまち

市民の声

林業の大切さを広め、体験や人材育成の機会を通じて林業に関心をもってもらう取組が必要だと思う。

自然と関わる仕事の人材育成を進め、森林の魅力を伝えてほしい。
森林は防災や水源に重要なので、保全と活用を進めてほしい。



施策の展開①

将来にわたって安定した
林業の推進

〔主な取組〕

- ◎ 低コスト化・省力化等の推進
- ◎ 担い手の育成・確保
- ◎ スマート林業の推進
- ◎ 花粉発生源対策の推進

施策の展開②

魅力ある森林づくり

〔主な取組〕

- ◎ 市民に親しまれる森林の整備
- ◎ 市民や企業による森林づくりの支援
- ◎ 木材利用の普及啓発



施策の展開③

森林の多面的
機能の強化

〔主な取組〕

- ◎ 森林経営管理制度の推進
- ◎ 広葉樹林や針葉樹林の整備促進
- ◎ 多面的機能の活動支援
- ◎ 里山林の維持・整備の推進

施策 2-3

3つの海が育てる水産業の振興



水産業の振興（牡蠣やヒオウギ貝養殖）

めざす姿

3つの海に囲まれた特性を活かし、
持続可能で魅力ある水産業が発展
しているまち

市民の声

海産物が豊富にとれる
漁場を守り育てていく取
り組みが必要だと思う。

地元の海産物の魅力
を内外に発信できるよ
うな漁業の仕組みづく
りが必要だと思う。

潮干狩りなど海辺での体験を
通じて、子どもから大人まで楽
しめるにぎわいのある海辺の
まちをつくっていくことが大切。



施策の展開①

豊かな漁場の回復

〔主な取組〕

- ◎ 稚魚の放流等による資源の維持
- ◎ 漁場を維持するための活動支援
- ◎ 資源を育てる藻場や浅場の保全

施策の展開②

魅力的な漁業の創出

〔主な取組〕

- ◎ 新しい漁法や養殖方法の推進
- ◎ 3つの海の魅力発信イベントの開催
- ◎ 付加価値の高い水産物の産地化
- ◎ スマート水産業の推進

施策の展開③

活気のある海辺づくり

〔主な取組〕

- ◎ 安全安心な漁港や海辺の整備
- ◎ 漁業をつなぐ担い手の確保・育成
- ◎ 地域の魅力を活かした海業の振興

施策 2-4

個性と魅力あふれる商工業の活性化



マルシェイベント（アエル中央商店街）

めざす姿

活気ある商店街と中小企業が発展
しているまち

市民の声

商店街に人とお店を呼び
込み、賑わいを取り戻し
てほしい。

食や音楽などのイベ
ントで、夜間もまちな
かに活気を生み出し
たい。

小規模事業者や個人
店への税制経営支援
を充実させてほしい。

地元資源を活かした
ビジネスを育て、地
域経済を元気にして
ほしい。



施策の展開①

商店街など中心市街
地の賑わい創出

〔主な取組〕

- ◎ 商店街集客イベントへの支援
- ◎ 商店街魅力向上の支援

施策の展開②

中小企業等への支援

〔主な取組〕

- 市融資制度の充実
- 商工団体活動支援
- ◎ 中小企業者への税制支援

施策 2-5

安定した雇用の創出



産業集積地域

めざす姿

地場産業の振興と企業誘致の促進により
地域産業の活性化と雇用の安定・拡大が
図られるまち

市民の声

若者が地元に着定できるよう、安定した雇用と高い賃金を提供できる企業の誘致を進めてほしい。

スタートアップ支援施設や工業団地の整備を進め、新たなビジネスや働く場を生み出すことが大切。

若い人材が活躍できるよう、起業支援や人材育成の仕組みを充実させてほしい。



施策の展開①

企業誘致及び既存企業の投資拡大

〔主な取組〕

- ◎ 工場等設置奨励事業
- ◎ 製造業誘致活動の強化
- ◎ 工業用水整備促進



企業誘致による工場等設置

施策の展開②

新たな産業団地の整備促進

〔主な取組〕

- ◎ 諫早平山産業団地の整備促進

施策 2-6

新たな活力の創出と人材育成(再掲)



いさはやコンピュータ・カレッジの授業風景

めざす姿

地域産業を担う人材が育ち、地元での就職や起業が活発に行われているまち

市民の声

スタートアップ支援施設などの整備を進め、新たなビジネスや働く場を生み出すことが大切。

起業や研究開発に挑戦しやすい環境を整え、イノベーションを促進してほしい。

若い人材が活躍できるよう、起業支援や人材育成の仕組みを充実させてほしい。

商業や娯楽など生活面の充実も含め、若者が地元で働きたくなる環境があると良い。



施策の展開①

新規ビジネス支援

〔主な取組〕

- ◎ 創業支援ワンストップ窓口の開設
- ◎ 市制度融資の充実

施策の展開②

地域産業を支える人材の確保・育成

〔主な取組〕

- ◎ 職業訓練校の支援
- ◎ 人材育成機関の支援 (IT 人材など)
- ◎ ハローワークとの連携に係る人材確保

施策の展開③

若者の地元就職の促進

〔主な取組〕

- ◎ 企業と高校との情報交換会の開催
- ◎ 若者向け県内企業説明会の開催

基本目標 3 人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び
続けられる、多様な学びの場と
機会に恵まれたまちを創る。

施策 3-1

学びと夢を育てる学校教育の充実



確かな学力を育成する学校教育

めざす姿

豊かな学びと夢や将来へのあこがれ
を持った子どもたちや若者であふれる
まち

市民の声

多様な体験や新しい学び
の機会を取り入れ、子ども
の個性や質の向上が大切
だと思う。

障がいのある子
や不登校の子ども
も学べるよう、理解
促進やフリースク
ールの整備も必
要だと思う。

給食費の無償化
や教育費の軽減
を進め、誰もが安
心して学べる環境
が必要だと思う。

校舎や施設の老
朽化を改善し、
どの学校でも安
定した学習環境
を整えてほしい。

教員の業務負担
を減らし、子ども
と丁寧に関われ
る教育体制が大
切だと思う。



施策の展開①

個性と創造力を 伸ばす教育

〔主な取組〕

- ◎ 確かな学力の育成
- ◎ 健やかな体の育成
- ◎ 読書活動の推進
- ◎ ふるさと教育の推進
- ◎ 国際理解教育の推進
- ◎ ICT活用教育の推進
- ◎ 学校における指導体制
の充実
- ◎ 特別支援教育の充実

施策の展開②

教育環境の充実

〔主な取組〕

- 安全安心で快適な学校施
設の整備
- 効率的で安全安心な学校
給食の推進
- 奨学金制度の推進
- ◎ 小中連携の充実による魅力
あふれる学校づくり
- ◎ コミュニティ・スクールの推進
- ◎ 部活動の地域展開
- ◎ 地域に根付いた大学との
連携

施策の展開③

心がふれあう安全な 学校環境づくり

〔主な取組〕

- ◎ 心の相談体制の充実
- ◎ 豊かな心を育むいじめ防止・
不登校対策
- ◎ 学校における働き方（働き
がい）改革の推進

施策 3-2

地域で支える青少年の健全育成



地域と連携した青少年健全育成

めざす姿

地域の子どもが地域で育ち、そこで育った子どもが将来、その地域の子どもを育てる好循環のまち

市民の声

子どもたちが地域と関わりながら人とのつながりや学びを深められる環境が大切。

地域や社会とのつながりを感じられるような教育の充実が必要だと思う。

安心して過ごせる地域の居場所を増やし、子どもを見守る環境をつくってほしい。

地域全体で子どもを育てていくという意識や仕組みを広げていくべきだと思う。



施策の展開①

豊かな人間教育

〔主な取組〕

- ◎ 地域学校協働活動の推進
- ◎ 人権教育の推進
- ◎ 体験活動の充実

施策の展開②

家庭・地域の連携による青少年健全育成

〔主な取組〕

- ◎ 家庭教育の充実
- ◎ 地域社会の教育力の向上
- ◎ サポートネットワークの整備・充実

施策 3-3

世代を超えて学ぶ生涯学習の推進



生涯学習の推進

めざす姿

市民誰もがいつでも快適に学習機会へアクセスでき、そこで得た知識や能力を地域社会の中で発揮できるまち

市民の声

学校外でも気軽に学べるスペースを増やしてほしい。

子どもから社会人まで、多様な講座を通じて幅広く学べる環境が必要だと思う。

在宅ワークや資格取得、趣味など、目的に応じた学び直しの場を充実させてほしい。

図書館の蔵書の充実や開館時間の延長を進めてほしい。

若者や地域の人が気軽に集まれる、くつろぎながら学べる図書館づくりが必要だと思う。



施策の展開①

学びの場の充実

〔主な取組〕

- ◎ 公民館・社会教育施設機能の整備・充実



多良見のぞみ会館

施策の展開②

生涯学習の充実

〔主な取組〕

- ◎ 多様な学習機会の提供
- ◎ 新たな人材発掘・育成
- ◎ 学習成果を活動につなげるシステムの構築
- ◎ 社会人の学び直し(リスキリング・リカレント教育)の推進

施策の展開③

「図書館のまち諫早」の推進

〔主な取組〕

- ◎ すべての市民に開かれた読書環境づくり
- ◎ 子どもの読書活動の推進
- ◎ 図書館ボランティアとの連携
- ◎ 多彩なイベントによる情報発信
- ◎ 様々な課題解決に向けたレファレンスサービスの充実
- ◎ 図書館におけるデジタル技術の導入と活用

施策 3-4

女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進



めざす姿

互いが対等な立場で希望する活動に参画し、自分の個性や能力を生かして、各々の場で活躍することができるまち

市民の声

家庭や職場における男女の役割格差をなくしてほしい。

家事や育児、働き方を男女で共同して担う意識を社会全体に広げていくことが必要だと思う。

管理職や議員などに、女性を積極的に登用してほしい。

性別にかかわらず、誰もが能力を発揮できる社会を実現していくべきだと思う。



施策の展開①

男女共同参画意識の浸透

〔主な取組〕

- ◎ 各種講座の開催等による男女共同参画の啓発
- 推進体制の強化
- 女性相談業務

施策の展開②

女性の能力発揮・人材育成と登用促進

〔主な取組〕

- 市審議会等の委員への女性の登用促進
- ◎ 女性活躍推進人材育成
- 女性の社会参画促進への支援

施策 3-5

恒久平和の推進と人権意識の醸成



平和のつどい

めざす姿

まち全体が世界の恒久平和を願い、人を思いやる
気持ちを持った子どもや若者であふれるまち
すべての人の尊厳や人権が守られ、安心していき
いきと暮らすことができ、個性や価値観を認め合う
住みやすいまち

市民の声

若い世代を含め、平和の大
切さを学ぶ機会をもっと広
げてほしい。

未来に向けて、平和を大切
にする意識を育てていくこ
とが重要だと思う。



施策の展開①

平和都市諫早宣言の
理念の継承と推進

〔主な取組〕

- 平和教育推進
- ◎ 恒久平和の実現へ向け
た意識啓発と継承活動



戦争・被爆体験証言映像の公開

施策の展開②

人権を尊重する
社会づくり

〔主な取組〕

- 人権擁護活動の推進
- 人権尊重意識醸成の推進
- 人権教育推進

基本目標 4 誇りと賑わいのあるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信
することで、市民は誇りを持ち、
活気のあるまちを創る。

施策 4-1

歴史と文化が息づくまちづくり



眼鏡橋 (国指定重要文化財)

めざす姿

歴史を学び、自然と文化を大切に守り、
次世代へ継承しながら、地域の誇りと
して生かすまち

市民の声

地域に残る独自の歴史
や文化財の保存活用を
大切にし、後世にしっかり
伝えてほしい。

まだ知られていない
伝統や祭りを発信
し、観光や交流の活
性化につなげる工夫
が必要だと思う。

子どもが地域の伝統芸能
や祭りにふれる機会を増や
し、文化への愛着を育てら
れる環境を整えてほしい。

施策の展開①

文化財の保存による
歴史文化と
自然の継承、発展

〔主な取組〕

- 文化財等保存整備
- ◎ 文化財環境整備
- ◎ 歴史発掘(歴史文化の掘り起こし)
- 文化財調査研究
- 伝統文化継承

施策の展開②

文化財を活用した
交流人口の拡大

〔主な取組〕

- ◎ 文化財活用事業
- ◎ 歴史街道観光活用事業
- ◎ ゆかりの地交流事業



エーセルテレカラフ (電信機)
(国指定重要文化財)



水ノ浦のスクイ漁場（市指定有形民俗文化財）



菜の花忌（伊東静雄の顕彰）

地域から生まれた著名な文化人を顕彰し、市民が誇りを持てるような取り組みを進めてほしい。

伝統文化の継承に向け、市が積極的に支援し、若者や多世代が関われる仕組みも整えてほしい。

若者や多様な世代が文化活動に参加できるよう、関わりやすい体制を整えてほしい。



施策の展開①

芸術文化の顕彰

〔主な取組〕

- ◎ 学校における芸術文化振興
- 郷土出身の文化人の顕彰



学校における芸術文化振興

施策の展開②

芸術文化にふれる 機会の創出

〔主な取組〕

- ◎ 芸術・芸能鑑賞機会の創出
- 地域の文化・歴史等の学習の場づくり
- ◎ 美術・歴史館の運営



美術・歴史館

施策の展開③

市民の芸術文化活動の支援

〔主な取組〕

- 文化団体の活動支援
- ◎ （仮称）市民交流センターの整備



整備イメージ

施策 4-2

スポーツ・レクリエーションの振興



本明川水上競技場

めざす姿

誰もが身近にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境を整備し、年齢や障害の有無に関わらず健康で活力あるまち

市民の声

誰もが利用しやすいよう、スポーツ施設の設備や駐車場の整備、利用時間の延長や料金の見直しを進めてほしい。

公園やバスケットコート
の整備、スポーツイ
ベントの充実など、市民が日
常的に体を動かせる環
境づくりが必要だと思う。

ローイングなど特色ある
競技の普及や、強豪校の
育成に向けた練習環境の
整備も重要だと思う。

施策の展開①

スポーツ拠点施設の 充実

〔主な取組〕

- スポーツ競技施設整備・充実
- ◎ スポーツ拠点施設・競技施設の利用促進
- ◎ 民間活力を生かしたスポーツ環境づくり

施策の展開②

スポーツによる 交流人口の拡大

〔主な取組〕

- ◎ スポーツ大会・合宿等の誘致
- ◎ 広域スポーツイベントの展開による魅力発信
- ◎ スポーツ交流の推進

施策の展開③

スポーツ競技力の向上

〔主な取組〕

- スポーツ競技力向上支援
- スポーツ表彰・支援

高校生が小中学生に指導するなど、スポーツを通じた世代間交流の取り組みを広げていくことが大切。

全国大会の誘致や著名選手との交流を通じて、地域の活性化やスポーツへの関心の高まりにつなげてほしい。



施策の展開④

生涯スポーツの振興

〔主な取組〕

- 地域スポーツ・レクリエーション環境の充実
- 総合型地域スポーツクラブの推進
- ◎ スポーツへの参加促進

施策 4-3

おもてなしの心による観光振興



小長井フルーツバス停

めざす姿

自然景観やまつりなどの観光資源を磨き、
観光地としての魅力を高め、訪れる方を
笑顔にするまち

市民の声

諫早の特産品や観光資源を
活かし、「また来たい」と思わ
れるような滞在環境や情報発
信の強化が必要だと思う。

のんのこ祭りや川祭り
といった行事に、地元
の店や市民がより深く
関わることで、地域全
体で観光を支える意
識が育つと思う。

高校生による観光マ
ップ作成やおみやげ
開発コンペなど、市
民が自ら魅力を発信
できる仕組みもある
と良い。

観光を「見るだけ」か
ら「関わる」ものへと
広げ、地域と来訪者
のつながりを深める
工夫が必要だと思う。



施策の展開①

観光地域づくりの推進

〔主な取組〕

- 観光情報発信
- ◎ 体験型観光の推進
- ◎ インバウンドの受入拡大
- ◎ 広域観光の推進
- ◎ 受入体制の整備

施策の展開②

市民参加型 イベントの推進

〔主な取組〕

- ◎ 諫早三大まつりの実施
及び支援
- ◎ 賑わい創出イベントへの
支援



のんのこ諫早まつり

施策 4-4

ふるさとの物産づくり



めざす姿

魅力ある地場製品の販売促進等に
取り組み、地域経済の更なる活性化
を目指すまち

市民の声

「諫早といえばこれ」と言われるような土産品や特産品を開発し、地域のブランド力を高める取り組みが必要だと思う。

若者や生産者が参加する商品開発や、地元食材を使った新メニューづくりに力を入れてほしい。

市内の飲食店などで、諫早産の食材をもっと手軽に楽しめるようにし、地産地消を促進すべきだと思う。

うなぎや果物など、諫早の魅力ある食材を全国に向けて積極的に発信していくことが大切。

地元の農産物の魅力を広く発信し、ブランド化や規格外品の活用などを進めてほしい。

施策の展開①

地場製品の開発・研究

〔主な取組〕

- ◎ 新たな地場製品の開発支援
- ◎ 6次産業化に向けた支援
- 農産物ブランド化の支援
- 産地拡大支援
- ◎ 付加価値の高い水産物の産地化
- ◎ 地場製品のブラッシュアップ

施策の展開②

地場製品の普及・販売促進

〔主な取組〕

- ◎ ふるさと納税の返礼品としての活用促進
- ◎ 物産展等への出展
- ◎ 販売促進の支援
- ◎ 道の駅や直売所等による地場製品の普及促進及び販路拡大の推進
- ◎ 3つの海の魅力発信イベントの開催

施策 4-5

水とみどり豊かな環境づくり



市民が親しめる水辺空間づくり

めざす姿

市民参加による緑化推進や河川美化に努めるとともに、市民の集う憩いの場として利用される公園や水辺の空間づくりによる、水とみどり豊かなまち

市民の声

公園の遊具が老朽化への修理整備を進め、安全に使用できるようにしてほしい。

諫早公園や眼鏡橋など、歴史資源を活かしたまちなかの公園整備を進めてほしい。

緑や花が豊かな美しい景観を、まちの魅力として積極的に活用してほしい。

花と緑にあふれるまちは、子育て世帯や来訪者にとっても安心できる環境になると思う。



施策の展開①

公園・緑地の整備

〔主な取組〕

- ◎ 公園施設の計画的な維持管理
- ◎ 造成に伴う新たな都市公園の整備
- ◎ 官民連携による公園の整備・運営の推進

施策の展開②

花と緑に囲まれたまちづくり

〔主な取組〕

- 花いっぱい運動の推進
- ◎ 緑の基本計画の策定
- 花医・樹医相談助言



花いっぱい運動

施策の展開③

水とみどりに親しむまちづくり

〔主な取組〕

- ◎ 市民参加による水辺空間の利活用の推進
- 生き物とひとにやさしい水環境の創造
- ◎ 水辺空間を活かした賑わいの場の創出



のぞみ公園



市民参加による水辺空間の利活用

白木峰や轟の滝、本明川沿いの自転車道など、自然資源を活かした施設や環境整備を充実させてほしい。



施策の展開④

本明川に 親しむまちづくり

〔主な取組〕

- 本明川を活かした賑わいの場の創出
- ◎ 本明川桜づつみの継続的な利活用の推進



本明川桜づつみ

施策 4-6

未来につながる環境の保全



ゼロカーボンシティいさはやロゴマーク

めざす姿

自然環境や生態系を守り、暮らしやすい
環境を次世代へつなぐまち

市民の声

諫早市の自然豊かな環境を大切に
守り、次の世代に引き継ぎたい。

私たちの住む地域だけでなく、地球全
体の環境を考えて、地球温暖化対策
やごみ問題に取り組んでほしい。

施策の展開①

自然と共生する 暮らしの推進

〔主な取組〕

- ◎ 生活環境や自然環境の保全
- 環境教育や意識啓発の推進



いさはやエコフェスタ

施策の展開②

脱炭素と資源循環型 社会の実現

〔主な取組〕

- ◎ ゼロカーボンシティ実現
に向けた取組の推進
- ◎ ごみ減量化や再資源化
の推進



諫早市環境キャラクター
エコ太

施策 4-7

市民協働の諫早プロモーション(再掲)



シティプロモーションサイト「カラフル諫早」

めざす姿

「住み続けたい」、「住んでみたい」と感じてもらえる、誰にとっても「住みよい」、「選ばれる」まちの実現のため、市民が地元に対して誇りや愛着を持ち、行政と共に市の魅力発信を行うまち

市民の声

県外の人にも諫早の魅力が伝わるよう、新たなPR手法も取り入れてほしい。

自然が身近にあり、自然と共生する暮らしの価値をもっと発信していくことが必要だと思う。

諫早には自然や食など魅力的なものが沢山ある。その魅力を市外の人にもっと知ってもらいたい。



施策の展開①

シティプロモーションの推進

〔主な取組〕

- シティプロモーション戦略に基づく施策の推進
- ◎ ふるさと納税制度を活用した地域資源のPR



施策の展開②

広報広聴の充実

〔主な取組〕

- 広報諫早の充実
- ◎ ホームページ、SNS 等を活用した積極的な情報発信
- ◎ 市民の声を大切にした広聴活動の推進
- ◎ 効果的な広報のための体制構築

施策の展開③

選ばれるまちづくり

〔主な取組〕

- ◎ 出合いのきっかけづくり
- ◎ きめ細かな移住相談
- ◎ 空き家バンクの利用促進
- ◎ 地域おこし協力隊と連携した情報発信
- ◎ 新生活実現支援

(調整ページ)

基本目標 5 持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる
機能的なネットワーク型のまち
の基盤を創る。

施策 5-1

安心できる地域福祉の推進



諫早市社会福祉大会

めざす姿

地域共生社会の実現に向けた基礎を築き、地域福祉活動を継続的に実施するため、その役割を担う人づくりを目指すとともに、公助の役割の着実な推進に努め、地域福祉を支えるまち

市民の声

支援を必要とする人に寄り添えるよう、地域福祉を支える人材の育成と支援体制の強化が必要だと思う。

隣近所で助け合えるような意識を高める取り組みが重要だと思う。



施策の展開①

地域福祉を担う人づくりと 支える仕組みづくり

〔主な取組〕

- ◎ 民生委員・児童委員への支援
- ◎ ボランティア活動等への支援
- ◎ 生活困窮者の自立に向けた支援
- ◎ 地域福祉活動の拠点の場づくり
- ◎ 関係団体との連携強化
- ◎ 重層的な支援体制の整備
- ◎ 権利擁護の推進

施策の展開②

共に支え合う 地域づくり

〔主な取組〕

- 地域における見守りの推進
- ◎ 地区(校区)社会福祉協議会活動の推進

施策 5-2

健康づくりと保健・医療の充実



相談による健康の維持・増進

めざす姿

市民の健康維持・増進が日常生活に根付き、地域医療体制が継続され、安心して暮らせるまち

市民の声

健康診断や病気を未然に防ぐ、予防の取組を一層充実させてほしい。

市民がより手軽に健康づくりに取り組める環境を整えることが必要だと思う。



施策の展開①

健康づくりと保健予防の推進

〔主な取組〕

- ◎ 健康いさはや21の推進
- ◎ 食育の推進
- 生活習慣病予防の推進
- ◎ 健康教育・健康相談の実施
- ◎ 健康診査の実施

施策の展開②

保健・医療の連携

〔主な取組〕

- ◎ 国民健康保険の適切な運営
- 安心安全な地域医療体制の継続

施策 5-3

明るく活力ある長寿社会の実現



若返り体操教室

めざす姿

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、安全・安心に、人生の最後まで続けられるまち

市民の声

高齢者が地域でその力を発揮できるよう、活動の場や社会参加の機会をもっと増やしてほしい。

高齢者が役割を持って地域に関わり、生きがいを感じられるような仕組みづくりが必要だと思う。



施策の展開①

介護サービス基盤の整備

〔主な取組〕

- ◎ サービス提供・支援体制の構築
- ◎ 介護人材の確保、定着基盤の構築
- ◎ 職場環境改善、生産性向上の推進

施策の展開②

高齢者が活躍できる地域づくり

〔主な取組〕

- ◎ 介護予防教室の開催
- ◎ 住民主体の介護予防活動の支援
- ◎ 集いの場や生活支援の住民活動を情報発信
- ◎ 高齢者の社会参加の促進



介護予防と生活支援の語らん場



フレイル予防教室



ふれあいいきいきサロン



介護予防サークル



施策の展開③

高齢者が安心して
暮らせる地域づくり

〔主な取組〕

- ◎ 相談窓口の機能強化
- ◎ 認知症に関する情報発信
- ◎ 認知症サポーターの養成
- ◎ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及
- ◎ 在宅医療・介護に関する情報発信と相談支援
- ◎ 多職種の対応力向上と協働支援
- ◎ 地域での支え合い体制づくり
- ◎ 住まい確保のための支援

施策の展開④

生きがいを持てる
地域づくり

〔主な取組〕

- ◎ ふれあいいきいきサロンの活動支援
- ◎ 集いの場や生活支援の住民活動を情報発信(再掲)

施策 5-4

自立と共生の障害者支援



共生イベントでの一コマ ～手話に親しむ～

めざす姿

障害のある人が、誰一人取り残されることなく、あらゆる社会活動に参加・参画することができるまちづくりに努め、障害のある人もない人もそれぞれの役割と責任を共に果たせる共生のまち

市民の声

もっと若い人に障害を理解してほしい。

障害者でも明るく楽しいまちであってほしい。

就労支援をもっと積極的にやってほしい。



施策の展開①

シームレスな(切れ目のない)支援の展開

〔主な取組〕

- ◎ 自立支援給付等による日常生活の支援
- ◎ 障害のある児童に対する教育・療育の充実
- ◎ 医療・保健・福祉の連携の推進

施策の展開②

社会参加の促進

〔主な取組〕

- ◎ 安心・安全な生活環境の整備
- ◎ バリアフリーの推進
- ◎ スポーツ・芸術・文化活動の振興
- ◎ 雇用・就労の推進

施策の展開③

支えあいのしくみづくり

〔主な取組〕

- ◎ 障害に対する理解促進
- ◎ 防犯・防災体制の確立

施策 5-5

総合的な防災体制の強化



流域治水による防災・減災

めざす姿

自助・共助・公助の概念のもと、相互が連携しながら被害を最小限に抑えるため、いつ起こるかわからない災害の発生に備えた防災・減災の取組による、災害に強いまち

市民の声

本明川流域やハザードマップで危険とされる地域には、重点的な災害対策が必要だと思う。

災害を未然に防ぐためのインフラ整備を計画的に進めてほしい。

防災無線が屋内で聞こえにくいため、放送内容の改善や屋内でも情報が届く手段の整備を行ってほしい。

安心して避難できるよう、設備が整った避難所を充実させてほしい。



施策の展開①

治水対策の促進

〔主な取組〕

- ◎ 流域治水による減災・防災の実現
- ◎ 計画的な排水施設の改修・維持管理
- ◎ 河川改修の推進
- ◎ 河道浚渫の推進
- ◎ 本明川ダム建設事業の整備促進



施策の展開②

危機管理体制の強化

〔主な取組〕

- ◎ 地域住民・団体等の防災意識を高め、自発的な防災活動への支援による地域防災力の向上
- ◎ 避難所環境や備蓄品の充実
- ◎ 防災分野でのデジタル技術の活用
- ◎ 消防団の組織強化及び装備充実
- ◎ 有事に備えた国民保護体制の充実
- ◎ 災害弱者や男女共同参画の視点に立った防災の推進

施策の展開③

土砂・海岸災害を未然に防ぐインフラ整備

〔主な取組〕

- 急傾斜地対策の推進
- ◎ 海岸災害の予防保全



急傾斜地崩壊対策

施策 5-6

交通安全・防犯意識の推進



通学路における交通安全の推進

めざす姿

交通事故や犯罪、消費者被害などが起こりにくい環境づくりを推進し、誰もが安全・安心に暮らせるまち

市民の声

交通ルールの遵守に対する市民の意識を高めるため、日常的な呼びかけや啓発活動を強化してほしい。

安全運転や歩行者優先の意識を広め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要だと思う。

夜間の安全確保のための取組を推進してほしい。

見通しの悪い場所や人通りの少ない道での安全対策を行ってほしい。

施策の展開①

交通事故のないまちづくり

〔主な取組〕

- ◎ 関係団体と連携した交通安全思想の普及や啓発活動による交通安全意識の向上
- ◎ 通学路の交通安全対策の推進
- ◎ 交通安全施設の維持・整備

施策の展開②

犯罪のないまちづくり

〔主な取組〕

- 犯罪のない安全な地域づくりの推進
- ◎ 防犯情報の発信による犯罪被害の未然防止
- 子どもの安全見守り活動

施策の展開③

相談体制の充実

〔主な取組〕

- ◎ 消費者被害の救済と被害防止
- ◎ 各種専門家等による相談の実施

施策 5-7

安全・安心な暮らしを支える基盤づくり



伊木力浄水場

めざす姿

安全・安心に暮らせる強靱な生活基盤を築き、未来にわたる安心と豊かさを市民が享受できるまち

市民の声

街がきれいで、賑やかな場所と静かな場所が共存している点が魅力だと思う。

住みやすさを感じるまちの魅力を活かし、生活基盤の整備を今後も進めてほしい。

公共施設が清潔に保たれていることは、市民に安心感を与えるため、今後も維持改善を続けてほしい。



施策の展開①

上水道の耐震化事業の推進と経営の安定化

〔主な取組〕

- 水道施設更新・整備
- 管路更新・耐震化
- ◎ 持続可能な料金体系の検討

施策の展開②

生活排水対策の推進と持続可能な事業運営

〔主な取組〕

- ◎ 公共下水道管渠整備
- ◎ 処理場等施設の更新・耐震化
- ◎ 農業集落排水施設の公共下水道への統合
- ◎ 維持管理業務への包括的民間委託導入
- ◎ 水洗便所改造資金利子助成
- ◎ 浄化槽設置費補助

施策の展開③

生活基盤の整備

〔主な取組〕

- ◎ 生活基盤を支える公共土木施設等の維持補修の推進
- 空き家等の適正管理の推進
- ◎ バリアフリー・安全型リフォーム支援
- 市営住宅の適正管理
- 公共施設バリアフリー率先整備の推進

施策 5-8

暮らしと経済を支える交通基盤の整備



バス路線の維持・確保

めざす姿

人や物の移動を円滑化し、誰もが暮らしやすく、働きやすく、訪れやすいまち

市民の声

通勤時間帯の交通混雑を解消するため、道路整備を進めてほしい。

市内全体の道路ネットワークを見直し、移動しやすい環境づくりが必要だと思う。

車道と歩道の整備を充実させ、歩行者と車の双方が安心して通れるようにしてほしい。

バスや電車の本数が少なく、車がないと不便なので、利用しやすい公共交通の充実を望む。

地域コミュニティバスや乗合タクシーなど、多様な移動手段を整備して生活の足を確保してほしい。

施策の展開①

道路ネットワークの構築

〔主な取組〕

- ◎ 高規格幹線道路の整備促進（島原道路、有明海沿岸道路）
- ◎ 一般国道および一般県道の整備促進
- ◎ 市街地の交通渋滞対策の推進
- ◎ 都市計画道路の整備推進
- ◎ 地域間を連絡する市道の整備推進

施策の展開②

市民生活における移動手段の確保

〔主な取組〕

- ◎ バス路線の維持・確保と見直し
- ◎ 乗合タクシーなどの運行による地域の足の確保
- ◎ 地域鉄道維持のための事業者支援
- ◎ 既存の公共交通の廃止などの場合における代替手段となる移動サービスの導入



整備中の島原道路（尾崎交差点付近）



コミュニティバスの運行（小長井地域）

特定エリアの交通渋滞解消に向けて、道路の見直しや信号制御の改善など効率的な交通誘導策を進めてほしい。

西九州新幹線の直通運転を早期に実現できるよう、国や県と連携して整備を進めてほしい。



施策の展開③

交通渋滞対策の推進

〔主な取組〕

- ◎ 渋滞発生要因や対策に関する調査研究
- ◎ 官民連携による渋滞緩和策の推進

施策の展開④

九州新幹線西九州ルート（新鳥栖～武雄温泉間）のフル規格による整備促進

〔主な取組〕

- ◎ 早期整備に係る要望活動
- ◎ 関連イベントの開催



新幹線関連イベント

施策の展開⑤

港湾の整備

〔主な取組〕

- ◎ 海上輸送能力と漁業活動の向上に資する港湾施設の整備



港湾整備（小長井港）

● 健全で効率的な行財政運営の推進

質の高い市民サービスを持続的に提供し続けるためには、健全で効率的な行財政運営が不可欠です。そのため、行政改革の推進や柔軟な組織運営に取り組むとともに、デジタル技術の活用や入札・契約事務の電子化などにより、行政事務の効率化を図ります。

また、安定した財政基盤を確立するため、ふるさと納税制度の積極的な活用や自主財源の確保に努めるとともに、公共施設等の適正管理や地籍調査事業の着実な実施などにより、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現します。

〔主な取組〕

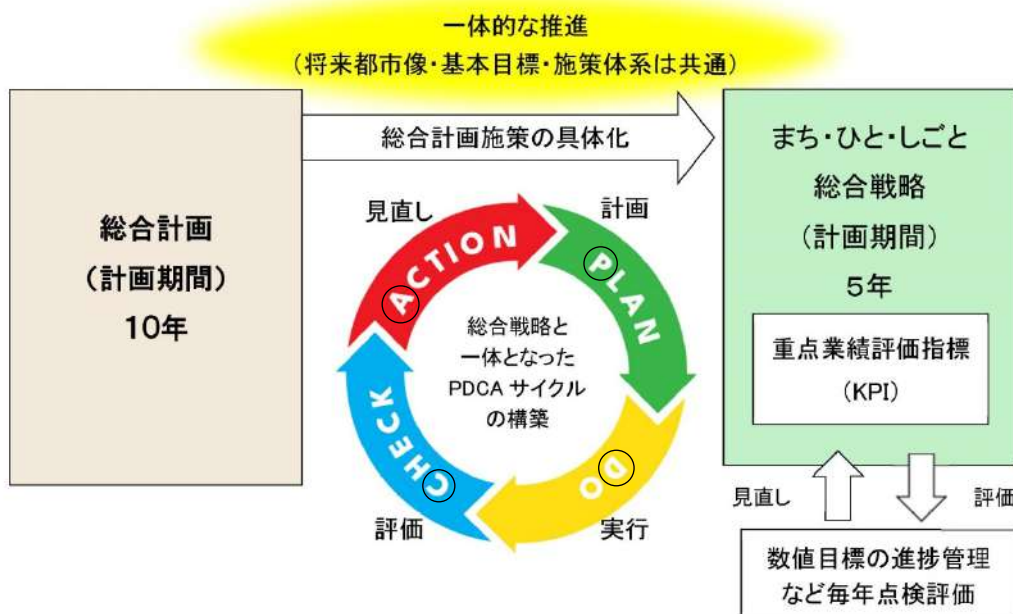
- 行政改革の推進
- 柔軟な行政組織運営
- ◎ デジタル技術を活用した行政の効率化
- ◎ 健全で持続可能な財政運営
- ◎ ふるさと納税制度を活用した地場産業の活性化と新たな自主財源の確保
- ◎ 入札・契約事務の電子化の推進
- ◎ 公共施設等の適正管理の推進
- 地籍調査事業の実施

● インクルーシブ(包括的)な社会づくりの推進

すべての市民が年齢、性別、障がいの有無、国籍などに関わらず尊重され、誰一人取り残されず、地域の一員として安心して参加し、活躍できる社会の実現に向け、各施策を推進します。

● 総合戦略と連動したPDCA サイクルの構築

総合計画の進行管理にあたっては、共通の目標および施策体系で策定した「諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標（KPI）を毎年評価・検証することで、計画の進捗状況を的確に把握し、総合戦略と連動したPDCAサイクルの構築により、まちづくり計画の着実な推進を図ります。





【市章】

諫早市の「い」の文字を6つの輪（旧1市5町）で構成し、「調和する美しい自然風景と歴史」、「元気に響き合う市民の心」、「未来下飛躍する諫早市の姿」を表現しています。また、中央の白地が長崎県の「N」にも見え、県央に位置する諫早市を象徴しています。



【市の木】

ヒゼンマユミ

◎肥前真弓

◎ニシキギ科 ニシキギ属

ニシキギ科の常緑樹で高さは8 mほどになり、春に淡緑色の小さな花が開き、晩秋に熟してオレンジ色のきれいな実を付けます。国指定天然記念物である諫早市城山暖地性樹叢の樹木の一つで、学術的にも貴重な本市を代表する木です。



【市の花】

ツクシシャクナゲ

◎筑紫石楠花

◎ツツジ科 ツツジ属

ツツジ科の常緑低木で高さは2～4 mになります。春に淡紅色のきれいな花を付けます。多良岳ツクシシャクナゲ群叢は国指定天然記念物に指定されており、全国に誇ることができる貴重な花です。